

2020年度

自己点検・自己評価  
報告書

令和2年4月～令和3年3月

富山国際大学子ども育成学部

## <自己点検・自己評価報告書の改訂について>

大学全体のアクションプランと自己点検・自己評価報告書との連携を意識して、今回の報告書から次のように内容項目を入れ替え、1年間の学部の取り組みによる「1実績と現状」及び「2課題」が明確になるように組み替えた。

特に大学のアクションプランの5つの指針と連動するようにまとめ、アクションプランの評価の際にその根拠資料となるようにした。また、この報告書の記載がアクションプランのレビューにも活用できるようにした。

さらに各カテゴリーで課題を最後に枠で囲んで見やすくなるようにした。これは大学全体のアクションプランの評価や自己点検・評価報告書における学部の課題を明確にし、次年度への取り組みを具体化するためである。

最初のカテゴリー〇に概況を設け、学部の全体像を一覧できるようにした。まだ、整備すべき点が数多くあるが、次年度以降内容の精選を進め、簡潔かつアクションプランと密接に連携し、学部のPDCAサイクルの中心となる資料にしていきたい。

| カテゴリー | 項目          | アクションプランの指針                              | 担当部署                 |
|-------|-------------|------------------------------------------|----------------------|
| 〇     | 概況          | 全体像                                      | 学部長                  |
| I     | 教育活動        | 指針1：教育の質向上を図り、学生の成長を保證する教育を実現する。         | 学務委員会<br>実習指導センター    |
| II    | 国際交流・地域貢献   | 指針2：国際化、情報化に対応し、地域創生に貢献する教育研究や各種事業を展開する。 | 国際交流センター<br>地域交流センター |
| III   | 学生支援・キャリア支援 | 指針3：活気が溢れ、個性を伸ばせる学校生活への支援やキャリア形成支援を強化する。 | 学生支援<br>キャリア支援       |
| IV    | 入試・情報発信     | 指針4：大学のブランディングと情報発信を強化し、多様な学生受け入れを促進する。  | 入試対策                 |
| V     | マネジメント体制    | 指針5：大学のマネジメント体制を強化し、健全で機能的な大学運営を行う。      | 学部運営委員会              |
| VI    | 資料 他        | 保護者向けのたより等                               | 学務委員会                |

# 概 況

## 学部の実績と現状 「学部の理念・目標の達成」

富山国際大学は、「時代の潮流に対応できる健全にして個性豊かな人材を育成して、国際社会及び地域社会の発展に寄与する」ことを基本理念としている。2009(平成 21)年 4 月 呉羽キャンパスに、少子高齢化時代における地域課題の解決に取り組む人材の育成を通して、地域社会に貢献することを目的として、子ども育成学部を設置した。

子ども育成学部が目指す人材像は、教育的愛情と子どもの福祉への献身、専門的な知識・技術と豊かな人間性を併せもち、一人一人の子どもの発達を理解し、主体的な活動を促す環境を整えて、子どもの生活・学習・発達を支援していく、資質の高い実践的能力を備えた子ども育成の専門家である。

学部開設 12 年目の 2020 年度は、学生総数 399 名(定員充足率 110.8%)の学生数になり、総定員を充足して 6 年目になる。2020 年度の新入生は 89 名であり、定員超過率 98.9%であった。

令和 3 年 3 月末には、第 1～8 期生に続いて第 9 期生 114 名が就職・進学など学部での学びを生かして、それぞれの新しい人生を歩み始め、卒業生累計は 789 名となった。

卒業生の成果は、県内の保育・教育・福祉関係者の注目を集め、高等学校・受験生・保護者の期待と評価は高まっている。高い進学ニーズとをもって人材を輩出して欲しいという地元のニーズに応えるため入学定員を 90 名(教職糧の定員は 90 名、保育者育成課程の定員は 80 名)にして 3 年目となった。

## ○学部総定員(収容定員)の確保に対応した教育の質の向上

| 入学年度        | R2<br>(2020) | H31<br>(2019) | H30<br>(2018) | H29<br>(2017) | 平均   |
|-------------|--------------|---------------|---------------|---------------|------|
| 入学定員(人)     | 90           | 90            | 90            | 80            | 85.0 |
| 入学者数(人)     | 89           | 99            | 91            | 116           | 98.8 |
| 入学定員<br>超過率 | 0.98         | 1.10          | 1.01          | 1.45          | 1.13 |

令和 3 年度の入試では、学生定員の確保(総定員の充足)を維持することができた。コロナ禍の影響で県外希望者の減少が影響で、辞退者が 15 名とやや少なかった。そのため、歩留率が高くなり定員を超える入学者になった。今後は、第 12 期生への教育の質の向上に向けたきめの細かい指導の継続、高いレベルと考えられている第 10・11・12 期生に対する教育・指導の充実など教育の質のより一層の向上が課題である。

## ○第 10 期生の高い就職・進学実績の実現

第 1～9 期生の就職・進学実績は、関係者の間で注目・評価されたとはいえ、その成果に安住してはいけない。10 期生は、保育・幼児教育、小学校、社会福祉の各分野で、目標をより高く掲げて、過去 9 年間の水準を上回る成果を目指していかなければならない。社会福祉士国家試験で、卒業生は 6 名受験し合格 0 名であった。今後も、卒業生への支援に取り組まなければならない。

## I 教育活動

### ○教育課程・授業の展開及び教員組織

教育職員免許法の改正及び教育職員免許法施行規則の改正に伴い、平成 31 年 4 月 1 日より新たな教職課程の運用を始めて 2 年目となった。また、児童福祉法施行規則第 6 条の 2 第 1 項第 3 号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法の一部改正に伴い、平成 31 年 4 月 1 日より新たな保育士養成課程の運用を始め 2 年目となった。また、社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令に一部を改正する省令等の改正に伴い、地域共生社会の実現を推進し、新たな福祉のニーズに対応するための実践能力備えた社会福祉を養成するため、教育内容の見直しを行い、令和 3 年 4 月 1 日より新たな社会福祉養成カリキュラムの運用を始める。また、各ソーシャルワーク演習について、子ども育成学部授業科目に関する規程第 4 条 1 項に定められた単位数（講義及び演習科目については 15 時間の授業をもって 1 単位とする）に変更する準備を進め、令和 3 年 4 月 1 日より運用を始める。

教員組織では、専任教員 20 名と事務組織に変更はなかった。保育・教育・福祉の教員が揃った中で、工夫改善された 3 分野の教育が行われた。

新型コロナ感染予防のため影響を受けた実習があった。1 つは、「保育所実習Ⅱ、施設実習Ⅱ」は中止になり大学の授業で代替した。2 つには、「介護等体験」は施設での 5 日間が中止になり遠隔の授業を視聴したレポートで代替した。3 つには、「富山に学ぶインターンシップⅠ」で体験時間 80 時間に満たない学生 3 名がいたが web の教育関係等の視聴により代替した。4 つには、「相談援助実習Ⅰ・Ⅱ」では PCR 検査を義務づけた施設があり、検査費用は大学の全面的な援助があり実施することができた。5 つには、「幼稚園教育実習Ⅰ」を中止し次年度へ先送りした。その他の実習は例年通り実施できた。

また、学生による授業アンケートは、例年どおり前期・後期の 2 回実施した。特に、web による全教科において実施し、各教員の授業改善に生かしてきた。幼稚園・小学校教員免許取得希望者を対象にした「教職課程履修カルテ」及び「チェックリスト」を活用し、教職を目指す学生への指導も実施した。各分野の学外実習の事前・事後指導と実習報告会、卒業研究の中間発表と卒業研究発表会なども、それぞれ改善・充実を図ってきた。

## II 国際交流・地域貢献

### ○地域交流・貢献活動

「子ども育成研究交流センター」の活動として、富山国際大学開学 30 周年記念として子ども育成に関するフォーラムの開催(1 回)とニュースレター「子ども育成研究」の発行(1 回)、高校及び地域団体等からの要請に対応した出講プログラム 21 件（高校 6 件、地域 15 件）、教育・福祉・保育現場や団体・行政などからの要請に対応した各種審議会・委員会

の委員、講演会・研修会講師、現場実践研究への支援活動など、多様な地域貢献に取り組んだ。

## ○研究

教員の研究活動では、文科省学術研究助成基金(科研費)助成研究 4 件(前年度 2)、(財)富山第一銀行奨学財団研究助成 3 件(前年度 2)などの外部資金を活用した研究に取り組むとともに、研究紀要「子ども育成学部紀要」第 12 巻 6 件(前年度 9)を発刊した。また、学内教員相互の研究交流のための研究交流サロンは開催できなかった(前年度 1)。

## Ⅲ 学生支援

### ○学生生活支援・家庭との連絡

校舎等施設利用のあり方など、学生生活をめぐる要望に応え、キャンパスアメニティを向上させるため、学生代表との懇談会(1 回実施)や学友会(全員加入制)との連携にも引き続き努めた。

学生指導では、適応支援チームを中心に、ゼミ担任・科目担当をはじめカウンセラーなどとも連携しながら、相談支援に努めた。

家庭に向けた学部通信「保護者の皆様へ」(第 23 報・第 24 報)の配布、保護者相談会をコロナ禍により年 1 回とし、10/19～11/23 の中で直接懇談が不都合な保護者に対して柔軟に対応した。また、学生生活や進路についても、適宜個別に家庭(保護者)との連絡を行い、問題が複雑・重篤なケースには、保護者来校による懇談・面接指導を行った。

また、富山国際大学同窓会「蒼昊会」の子ども育成学部支部の第 7 回ホームカミングデー及び小学校教育研究学会の第 3 回研究大会は、新型コロナウイルスの感染予防のために中止となった。

### ○キャリア支援

キャリア支援については、「小学校教員採用 10 名、公立保育士採用 10 名、社会福祉士国家試験合格 10 名」を目標に、キャリア支援入門講座や支援講座を実施し、キャリア支援担当参事・事務室・分野担当教員・ゼミ担任の連携などにより、強化・充実を図った。

最終的には、卒業生総数 114 名に対して「小学校教員試験合格 44(既卒者 9 含む)、公立保育士採用 18 名、社会福祉士国家試験合格 18 名(既卒者 0 名含む)」の成果を上げることができた。どの分野も、目標値の 2 倍近い成果をあげた。臨時採用も含めた分野別進路については、「小学校分野 37 名(前年度 29)、保育・幼児教育分野 32 名(前年度 27)、社会福祉分野 22 名(前年度 16)、教育系大学院等進学 5 名(前年度 5)、公務員・警察 4 名(前年度 3)、企業 11 名(前年度 10)、その他 3 名(前年度 2)であり、卒業生の約 8 割が専門分野または関連分野に進んだことになる。今年も小学校分野に進んだ人数が、保育・幼児教育分野を上回り、この傾向は続くと予想される。また、社会福祉士国家試験の合格率は 66.7%(現役合格率は 85.7%)で、全国の平均合格率 29.3%を大きく超え、全国の第 15 位、私立大学の中では 3 位を達成した。

## Ⅳ 入試・情報発信

令和 3 年度入試志願者数は、コロナ禍により県外大学を敬遠した学生がいたため 320 名(定員 90 名の 3.56 倍)となり 44 名も昨年度より増加した。また、普通科単独校からの志願

も増加して、受験生の質も向上した。

3 年次編入生も 6 名(定員充足率 120%)であった。富山短大福祉学科からの編入生が 4 名おり、学園内連携の推進が効果を表したといえる。

## V マネジメント体制 大学改革・教育改革への取組み

学部運営体制としては、学部連絡調整会議の開催(2 回)及び学部運営委員会の開催(1 回)を精選した。また、各委員会の開催を通して、教職員の目的と情報の共有に努め、教育指導・実習指導・学生指導など学部運営の充実を図った。

今後も、学部自身の責任と自主的な改革により、地域と時代のニーズに対応した教育・研究・社会貢献活動を展開していく必要がある。

## <資料>

### 1. 学生の状況 (令和 2 年度)

|               | 在籍者数  | 内訳 (1) | 内訳 (2) 出身県 |    |    |    |    |    |    |    |    |
|---------------|-------|--------|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
|               |       | 男：女    | 富山         | 新潟 | 石川 | 福井 | 岐阜 | 滋賀 | 静岡 | 茨城 | 兵庫 |
| 1 年生(定員 90 名) | 90 名  | 20：70  | 87         | 1  | 1  |    |    |    |    |    | 1  |
| 2 年生(定員 90 名) | 98 名  | 16：82  | 93         | 2  | 1  | 1  |    | 1  |    |    |    |
| 3 年生(定員 90 名) | 96 名  | 20：76  | 95         | 1  |    |    |    |    |    |    |    |
| 4 年生(定員 80 名) | 115 名 | 23：92  | 112        |    | 2  | 1  |    |    |    |    |    |
| 計 (定員 350 名)  | 399 名 | 79：320 | 387        | 4  | 4  | 2  |    | 1  |    |    | 1  |

### 2. 教員組織 (令和 2 年度)

| 区 分           | 人数   | 内 訳              |
|---------------|------|------------------|
| 子ども育成学部専任教員   | 20 名 | 教授 10 准教授 6 講師 4 |
| 学園内教員 (兼任・兼任) | 10 名 | 現代社会学部 3 富山短大 7  |
| 学園外教員 (非常勤講師) | 34 名 |                  |
| 計             | 64 名 |                  |

### 3. 呉羽キャンパス事務室 (令和 2 年度)

| 区 分       | 人数  | 内 訳                  |
|-----------|-----|----------------------|
| 専任事務職員    | 3 名 | 事務長 1 主査 1 主事 1      |
| 兼任職員 (短大) | 2 名 | 図書館 1 健康管理センター 1     |
| 契約職員      | 2 名 | 参事 (キャリア支援担当) 1 職員 1 |
| 計         | 7 名 |                      |

## Ⅱ 教育活動

### ＜授業及び学修活動＞

#### 1. 実績と現状

##### （1）新規の取組み

##### ① コロナ禍緊急事態宣言に対応した授業の全面遠隔化への転換

年度当初からのコロナ禍に対する緊急事態宣言下において入学式もオリエンテーションも中止となる中で、急遽オンライン遠隔授業への転換を試みた。全教員が未経験のため学務課や情報センターと連携しながら遠隔授業の研修会を試み、4月20日からの遠隔授業の準備を進めた。

新入生への対応は、20日午前中は休みにして3限の13時半からオリエンテーション、学生証、学生便覧等配布、履修についての説明をし、4限～5限はパソコン配布してセットアップ説明、教科書は14～16時販売とすることを一旦決めたものの、感染状況からすべて説明書をつけて郵送することとなった。教科書販売も教科書販売会社からの発送による形に変更した。

面接授業に替わる遠隔授業については、ZOOM等のオンライン授業の他、課題研究提出という方法もありうることを確認しつつ、詳細については今後情報収集と調整が必要ということになった。また非常勤講師の遠隔授業開始についてもアンケートを行い、研修会等や会議室での送信対応も可能にした。

##### ② 会議や面接のオンライン遠隔化

学部の教務委員会等会議の遠隔化だけでなく、短大健康福祉学科の学科長からの「教育原理」「教育心理学」の科目等履修生申し込みの面接も遠隔で行った。

##### ③ 分散登校ならびに対面授業再開

5月には、新型コロナウイルス感染症対応の学生登校対面授業開始ロードマップへの対応準備を検討した。6月上旬までに検討を終えること、段階的に考えていくことが確認された。子ども育成学部は早くも6月15日からの予定となり、この日から絶対に開始しなければならないということではなく、2週間ずつ後ろにずれていくことも想定した。対面授業を開始しても不安学生のために対面と遠隔の併用も考えた。飛沫防止パネル、フェイスシールド等の設置準備等の可能性を探った。三密を避けるための対策(座席の間隔、座り方、教室確保)を検討した。

文科省からの通達の全科目遠隔ではできないという規制が緩和されないことも当初は想定し、週別で、学籍番号末尾の奇数偶数で対面と遠隔の学生を分ける奇数偶数週別での交替対面制なら、対面授業としてカウントできるという方策も立てた。その場合も、対面授業への出席に不安が残るため遠隔授業を希望する学生の希望を尊重していくという前提ならば、部分遠隔の対面でもかなりの三密の大幅減(予防)となるためであった。こうした苦渋の方策を立てなければならなかったのは、現代社会学部や富山短期大学のような教室リソースの余裕がないためであったが、実際には学籍番号末尾の奇数偶数で対面と遠隔の学生を分ける日別の交替対面制から徐々に対面に復帰した。この間、県内外の小・中・高校の対面授業再開の実施状況を知らない教員ならびに学生から首都圏の大学の遠隔授業全面続行に倣って遠隔授業を続ければいいとい

うような対面再開を不安視する意見も寄せられ、その度に彼我の感染状況の違いや県内高校等の対面授業実施状況を説明し、感染状況への多様な受けとめ方の中でのコンセンサス形成の難しさに直面した。特に北日本新聞等地元有力紙も読まず地元公教育における全面对面授業が早期に始まっていることを知らないで東京など深刻な感染状況下にある首都圏大学の遠隔授業全面続行の噂しか知らない大学教員と、感染状況の落ち着いた県内外の県立高校等の40人学級で40人授業を数か月前から全面对面実施して感染がない事実を把握している大学教員との意識の差、また地元有力紙ならびに全国紙等の新聞を読んでいる教員と全く読んでいない教員との間の情報格差等から、コンセンサス形成の困難が生じた。「専門家は、専門しか知らないから過ちを犯す」(オルテガ・イ・ガゼット)という所以であり、県内感染ならびに県内学校授業の状況を把握するためにも地元新聞を、同時に全国の大学の授業動向を把握するために全国(経済)紙を読むことの大切さを再認識した。

他方で、実際に対面と遠隔との並行授業には学生ならびに教員の双方から授業の困難さについて多くの不満が寄せられたことは、そのアンケートにも表れた。背景には教室リソースに余裕のある現代社会学部ならびに富山短期大学のような分散登校ができなかったという客観的条件の違いがあり、このような客観的ハンディキャップの早期解消と教育条件の格差解消が急務である。

しかし、文科省の方針も刻々と変化する中で、県内外の小・中・高校の対面全面再開ならびに県内外の大学の動向に関する客観的事実(判断)が、県内学生がほとんどを占める本学部のような場合には有力な判断指標となった。

原則全面对面授業再開後について不安等から並行遠隔授業を希望する学生が当初は15名いたものの、6月22日から原則対面授業が再開される中で教室での感染に対する学生の不安も日々減少し、実際に学生教職員等の感染等が発生することもなく約3週間後の7月13日迄には15名の遠隔希望者も全員が完全な対面授業に復帰し、7月13日から現代社会学部と同時に全面对面授業への完全復帰が完了した。

現代社会学部や短大と異なって教室リソースに全く余裕がなく分散教室による分割授業ができない本学部特有の困難な状況下において、その後も長期に渡って遠隔授業を続けた県内外の他大学と異なって比較的速やかに全面对面授業に復帰することができたのは、他県に比べて比較的安定した県内感染状況だけでなく、本学部学生の学部への信頼と期待の賜物と思われた。これ以降、1月の富山県35年ぶりの大雪等による一時的な遠隔授業を除いて本年度末まで全面对面授業を継続実施した。この間、常勤職員わずか3名しかいない呉羽キャンパス事務室の職員の献身的な努力と能力は稀有のものであったことは特記に値する。

#### ④ 教養演習共同研究発表会の遠隔化

教養演習も授業の分散登校に合わせて、対面と遠隔を並行する中で、遠隔での共同研究を試み、その成果をゼミごとにビデオにまとめ、7月22日の遠隔共同研究発表会を実施した。

#### ⑤ 来年度の社会福祉士の新カリキュラムへの改訂

国家資格の規程変更にともない実習や演習の時間数等を充実するとともに、類似する内容の科目の精選を行うことにし「履修規定の一部改正」を策定し、学則変更を行った。

#### ⑥ 新たな教育プログラムの策定



数理・データサイエンス・AI リテラシー教育プログラム（仮称）を新たに設定し、「数値・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」対応の科目編成（導入・基礎・心得）について、来年度に申請を行う。本学部の修了要件を以下のものとした。

- 「情報処理演習」の単位を取得すること
- 上記に加え、「人間と情報」の単位を取得すること

この件を、新年度 4 月中にホームページに掲載するとともに、新年度オリエンテーションで新入生に説明するとともに、専用の新委員会が設置されることになった。

#### ⑦ 保育士養成課程の科目重複の改善

保育士養成課程に関する学則改正にともなう科目充実の改訂の中で生じた科目内容の重複に関して、保育者養成課程委員会の報告により、「子どもの理解と援助」について閉講することが、以下のように認められた。「子どもの理解と援助」は「幼児理解」との重なりが多いため、学則改正前の教育課程（平成 31 年度及び令和 2 年度入学生適用）における「子どもの理解と援助」（3 年次：演習 1 単位）についても、2 年次に履修する「幼児理解」で必要な教授内容を修得したとみなし、令和 3 年度以降開講しない（富山県協議済）こととする。これに伴い、2019（平成 31）年度及び 2020（令和 2）年度入学生には、2021（令和 3）年度 4 月のオリエンテーションにて、規程の一部改正、附則別表をそれぞれ配布し、説明することとした。

## （２）教育指導

- ① 授業科目の履修指導・前後期末試験・再試験の実施
- ② 教養演習：（1・2 年共通）初年次教育（令和 2 年 4 月）リテラシーガイダンス令和 2 年 4～令和 2 年 5 月）、ゼミ別活動合同発表会（令和 2 年 7 月）、個人研究ゼミ発表（令和 2 年 10 月～令和 3 年 1 月）
- ③ 卒業研究：（3 年）中間発表（令和 2 年 10/20～10/30）  
（4 年）卒業研究発表会（令和 3 年 2/13）
- ④ 地域社会参加活動：（1 年）20 時間以上の地域活動体験、活動報告会、活動報告集
- ⑤ 学外施設等を利用した授業： コロナ禍対応による三密回避のため大幅に減少した。

| 授業科目      | 開講時期    | 利用施設等                                                         | 実施日               |
|-----------|---------|---------------------------------------------------------------|-------------------|
| 保育内容（環境）  | 2 年前期   | 富山市・射水市・高岡市等の公園（個人活動）                                         | R2. 6/1(水)～7/5(月) |
| 卒業研究 I    | 3 年後期   | 石倉ゼミ（3 年）能作（高岡市）                                              | R2.11/17（火）       |
| 卒業研究 I・II | 3～4 年通年 | 本江ゼミ（3・4 年）第 18 回 GATA 研オンライン（新潟の保育の今と未来を考える会）                | R2.6.6(土)         |
| 卒業研究 I・II | 3～4 年通年 | 本江ゼミ（3・4 年）現場と作る子ども主体の保育オンラインセミナー（株式会社ベネッセコーポレーション 保育研修会 事務局） | R2.12.11(金)       |

- ⑥ 授業改善の取り組み：授業アンケートの実施（前・後期末 2 回）
- ⑦ 令和 3 年度「入学前オリエンテーション」の実施（令和 2 年 12 月 呉羽キャンパス）  
[コロナ禍対応のため対面を中止し通信添削指導で実施、  
推薦入学予定者 34 名]

## 2 課題 <授業及び学修活動>

### (1) 教養演習の運営方法、活動内容

1年次のゼミ配属については、出身高校が重ならないこと、また男子学生が1名だけにならないよう配慮した。2年生については、1年次の教員・学生と重ならないこと、また、病気や欠席等配慮を要する学生が一部のゼミに偏らないようにした。

前期の教養演習では、例年実施していたオリエンテーション交流合宿と学部交流会が中止になった。第2回目において、「リテラシーガイダンス2」として、「守秘義務について」（彼谷教授）、「調査研究の基礎」（大平准教授）、「自校教育」（大藪教授）について、1年生全員が各教員から講義を受けた。第3回目では、学友会主催で大学生活・活動紹介を行った。第4回目では、「初年次教育」として学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）を実施した「前期は、ゼミごとに調査・探求を行い、7/22（水）と7/29（水）にZoomを用いた「ゼミ別活動合同発表会」を行った。

後期では、グローバル化社会に向けた教養教育の一環として「海外体験発表会」を行った。後期は、個人研究を中心に行った。

### (2) 卒業研究の運営方法、活動内容

卒業研究発表会の開催については、今回3年生が運営主体となったことで、学生による自主的自律的な運営を実施することができた。

なお、発表会の開催方法としては、従来2月中の土曜を終日活用していたが、発表者数が増えることや、例年拘束時間が長時間に及ぶため参加者に負担がかかっていたことに鑑み、会場数を4室から7室に増やして、午前で終了するよう工夫した。

次年度もこの方法を踏襲しつつ、平日開催を目指して準備する。

### (3) 海外留学

2020年度は、コロナ禍のために、休暇期間中（夏休み又は春休み）の短期留学（科目名：「インターナショナルプログラムズ（短期）」は実施できなかった。長期留学（「インターナショナルプログラムズ（長期）」に関しては、2019年度まで子ども育成学部では参加希望者が出なかったが、2020年度はカナダの協定校、レスブリッジ大学でのオンライン交換留学が可能となったため、英語力のある3年生を推薦し、春学期（2021年1月5日～4月23日）に教育学部への留学が実現した。レスブリッジ大学の学部への留学を果たしたのは本学で2人目であるが、1人目は現代社会学部の学生だったので、子ども育成学部では初めての快挙だった。

語学留学とは異なり、学部の授業についていける英語力を持っていることが前提である。TOEICよりアカデミックで高度であるTOEFLが合格基準として使用されているので、事前にその勉強や受験が必要だった。本自己点検書作成時点で履修中であるが、毎週たくさんのリーディングやエッセイの課題が出る教育文化に適応し、懸命に勉強を続けている。履修している科目のテーマは第2言語としての英語教育であり、英語が得意な当該学生の将来に大いに役立つものと思われる。この学生は、これまでの子ども育成学部生では例外的に英語力の高い学生である。今後も、学部の交換留学生として派遣できるような学生を輩出したいものである。

#### (4) 海外研修～「異文化研修」その他

海外研修のプログラムはすべて中止となった。子ども育成学部開講の「カナダ異文化研修」には当初いつもより多い 15 名が履修登録をし、熱心に事前授業に参加していたが、2021 年 2 月に実施不可とする最終判断をせざるをえなかった。現代社会学部開講の「韓国異文化研修」と「国際交流実習（ボルネオ）」に他学部履修の登録をした学生達もいたが、これらも実施が見送られたために参加ができなかった。カナダ異文化研修、韓国異文化研修、国際交流実習（ボルネオ）は、2021 年度も日本学生支援機構から奨学金が供与されることになっている。それが利用できる状況となることを願うのみである。

なお、コロナ禍の中でオンラインのズームミーティングが使えるようになったお蔭で、後期にはレスブリッジ大学のカナダ人学生グループとの間で週に一度の「カンバセーション・カフェ」が実現し、子ども育成学部から 4 名、現代社会学部から 2 名の学生が参加した。こうした国際的な交流の機会が途切れないようにしたいものである。

## <実 習>

### 1 実績と現状

#### (1) 実習の取り組み状況（実習名【担当者】実習期間、実習先数、実習生数、報告会日等）

全実習先に、実習前後 2 週間の健康記録表・実習中の健康記録カード・新型コロナウイルス対策にかかる「実習に関する対応指針」（2020 年 5 月 8 日付）を送付し、本学の対応方針を理解していただいた上で実施していただけるよう配慮した。

#### <幼稚園教諭一種免許状関連>

- ① 「幼稚園教育実習Ⅰ」（1 年次選択）【佐部利・大平】：実習指導ともに開講せず（5/13 教授会承認）。例年 11 月 5 日間実施。
- ② 「幼稚園教育実習Ⅱ」（3 年次）【石倉・河崎】：R2.8.31-9.18（うち 15 日間）、18 ヲ所 20 名、報告会（R3.1.13）

#### <保育士資格関連>

- ③ 「保育所実習Ⅰ」（2 年次）【竹田・本江】：R2.9.2-9.15（うち 10 日間）、56 ヲ所 57 名、報告会（R2.10.23）
- ④ 「保育所実習Ⅱ」（4 年次）【本江・竹田】：学内実習・演習に振替（予定期間：R2.6.8-6.19）。実習予定者 59 名中、6 市町村 13 名のみ配属連絡あり。実施決定時期が緊急事態宣言下だったため、全員の現場実習を中止。実習指導（遠隔）を 8 回に縮小し、通年 15 コマ開講で単位を出した。
- ⑤ 「施設実習Ⅰ」（2 年次）【宮田・室林】：R2.11.9-11.20（うち 10 日間）。26 ヲ所 56 名。報告会（R3.1.20 遠隔）。一部（乳児院）5 日間の短縮実施となったため、介護等体験の代替学修として認めた通信教育教材（独）国立特別支援教育総合研究所が開設する免許法認定通信教育の科目「聴覚障害教育の教育課程」に係る印刷教材の学修とその報告及び討議を代替演習として実施。
- ⑥ 「施設実習Ⅱ」（4 年次）【相山・室林】：学内実習・演習に振替（予定期間：R 元 6.8-6.19）。6 名。報告会（R2.10.13）。保育士として対象に関わる意義やその姿勢、実際の活動について理解を深めるために、障がい福祉の歴史的展開を把握した上で、支援者や家族に

対するインタビューを実施。

#### ＜小学校教諭一種免許状関連＞

- ⑦「教育実習（小学校）」（3年次）：R2.9.2-9.24（うち15日間）、52カ所66名、報告会（R2.2.19）
- ⑧「介護等体験」（2年次）【金子・河崎】（小学校教員免許関連）：特別支援学校12カ所（2日間）66名（R2.6～R2.11）、報告会（R3.1）。社会福祉施設（5日間）については受入不可のため、文部科学省通知による代替措置（特別支援教育における通信講座の印刷教材の受講）を採用し、レポート提出をもって修了したことを認めた。

#### ＜社会福祉士受験資格関連＞

- ⑨「相談援助実習Ⅰ・Ⅱ」【村上・相山・室林】R2.2.10～3.18（25日間かつ180時間）、12カ所22名、報告会（R3.5予定）。コロナ禍により1名延期。休学中により1名継続延期。R3.1.13に本学コロナ感染者発生が報道され、滑川・南砺市社会福祉協議会より、計7名の学生に対して「PCR検査の陰性結果通知書」持参が実習条件として求められ、本学緊急対策室・健康管理センター・実習担当者により、信頼性の高い富山市医師会健康管理センター実施のドライブスルー方式の唾液検査（税込み16,500円）本学負担で2月に実施、7名全員陰性により実習受け入れ可となった。今年度受入不可となった氷見市社会福祉協議会の1名は、本人の意向も踏まえ次年度8月に実施、新生苑2名はいみず苑で実施した。

#### ＜スクールソーシャルワーク教育課程修了証関連＞（小・社取得者）

- ⑩「スクールソーシャルワーク実習」【村上】R2.5.1-12.31（80時間）、小・高各1カ所・生活保護受給世帯、7名、報告会（R3.2.4）

#### ＜就業体験＞

- ⑪「富山に学ぶインターンシップⅠ」【辻井】R2.7-R2.12、12カ所11名（小10・福1）、報告会（Ⅱと同日R3.1.19遠隔）。研修先は小学校・図書館・社会福祉協議会。保育・幼児教育分野は履修者なし。
- ⑫「富山に学ぶインターンシップⅡ」【松山・河崎・室林】R2.8-R2.11、31カ所34名（小33・社1）、報告会（Ⅰと同日R3.1.19遠隔）。研修先は小学校・施設。保育・幼児教育分野は履修者なし。

### （２）実習指導センター会議等での協議事項

実習指導センター会議を4/3、幼稚園・保育所実習部会を5/20に開催し、コロナ禍における情報交換を中心に行い、課題を協議した。今年度、実習履修要件抵触者はいなかった。学生への個別の対応については以下のようなものである。

- ・実習不合格者：幼稚園教育実習Ⅱ（3年次）で不可となった学生1名については、社会人としてのマナーが問われ、実習担当者が実習園や本人から状況を聞き取ったのち、個別指導を行った。来年度は、実習指導において社会人としてのマナーについて、指導を強化することとした。
- ・履修延期者：幼稚園教育実習Ⅱ（3年次）で実習延期となった学生1名については、体調管理が必要であったため、4年次で履修することとなった。

## 2 課題 <実習>

### (1) コロナ禍の実習対応について

コロナ禍の中、2 実習を学内実習・演習に振替、1 実習は未開講、1 実習は一部短縮、1 実習は一部 PCR 陰性結果通知書が受入条件となり、受入不可となった一部学生が他施設受入可となるなど調整は様々だったが、その他の実習が実習先の協力で実施できたことは不幸中の幸いと考えることができる。2 週間前からの検温や健康観察など、体調の管理に努めることや実習の活動指針に基づく対応など危機管理能力を高める必要がある。

なお、コロナ禍で見えてきたこととして、各省庁からの通知の速やかな周知の必要性、訪問しない場合の実習委託費と手土産の位置づけ、学内実習・演習の際の協力体制、施設との協働による実習指導の質向上、オンラインによる事務の合理化とデジタル技術の活用、PCR 検査を求められた際の負担の所在や検査機関の検討、実施期間の分散による起案の難しさなどが挙げられ、来年度の方針を決めていく必要がある。

### (2) 個別配慮を要する学生への対応

健康不安等、個別配慮を必要とする学生が増加傾向にあり、実習中に都合が悪くなるという例も見られた。コロナ禍の中、健康管理センターと連携を密にして学生の健康状況を把握することや、実習中に起きた問題点等は、教員相互が分野を超えて理解し合うことが必要になってきている。また、不適切な実習態度により、実習先より評価について相談を受けることもあった。以前にも増して学生に応じた日頃の指導はもとより、実習指導ではより丁寧な対応が求められる。

### (3) 入学者増・実習施設減に伴う実習先の確保

入学者増に伴う実習先の確保が難しくなってきた上に、コロナ禍のため受入れそのものを断られるケースもあり、以前にまして厳しい状況となっている。各分野で対策の検討を要する。

3 年次の小学校教育実習（及び介護等体験）の履修学生が依然として多く、実習先の確保や実習指導に配慮が必要であった。コロナ禍のため断られるケースもあった。なお、幼稚園減に伴う幼稚園教育実習Ⅱ履修者への対応についても、富山大学、富山短期大学、保育現場と何度も連絡を取り合い、実習先を確保した。前年度より、保育所から移行した幼保連携型認定こども園の確保を進めている。

### (4) 実習指導センターの充実

専門職養成教育の質の維持・向上のためには、実習指導教員の連携や工夫に加えて、年間 11 実習に関する様々な書類作成や連絡調整等の業務を担う実習担当職員の配置が必要であり、教授会等で実現の方向に向かったが、予算要求されず実現しなかった。学部内の責任関係に問題があり、教員の研究活動を推進するためにも必要であることを再確認し、粘り強く働きかけていきたい。

## Ⅱ 国際交流・地域貢献

### ＜国際交流・地域貢献＞

#### 1. 実績と現状

##### (1) 富山国際大学開学30周年記念 第12回子ども育成フォーラムの開催

- ・テーマ：「コロナ禍における学校教育～ICTの活用」

小田 仁洋 氏（オックスフォード大学教授）

- ・概要：2020年に全世界を巻き込んだ新型コロナウイルスの感染拡大は、2021年になっても終息の兆しが見えない。非常事態宣言などによって子ども達の登校が禁止された時、日本国内の初等・中等学校は、登校に代わる通信教育を直ちに提供できる先進性がまだ備わっていないことが露呈し、学校教育におけるICTの活用がこれまでに増して大きな課題となっている。

本フォーラムでは、ICTを活用した先進的なやりかたでコロナ禍を克服し、独創的な教育実践にも取り組んでおられる富山市立速星中学校から小田仁洋教頭先生をお招きし、具体的な教育実践や生徒達の様子についてお聞きすることにより、通常時および非常時の学校教育におけるICTの活用のあり方について学び、考える有意義な時間となった。

- ・開催日時：令和3年3月20日（金）午後1時30分～3時00分
- ・開催場所：Zoomによる遠隔開催
- ・参加者数：約250名（教育・保育・福祉関係者、一般市民、学生など）

##### (2) 高校出講プログラム

4年制大学への進学に向けてのモチベーションを高めることに貢献し、高校の授業で行われていない内容であるため、高度でアカデミックな講義に高校生が触れる機会となっている。

| 講師    | 月日          | 依頼元           | 講演名等                                                      |
|-------|-------------|---------------|-----------------------------------------------------------|
| 辻井 清晴 | 2019年4月17日  | 富山県立永見高等学校    | 道徳ガイダンス                                                   |
|       | 2019年7月3日   | 富山県立入善高等学校PTA | 道徳ガイダンス                                                   |
|       | 2019年7月6日   | 越谷富山高等学校      | 道徳ガイダンス                                                   |
|       | 2019年7月10日  | 富山県立富山西高等学校   | 道徳ガイダンス                                                   |
|       | 2019年7月13日  | 富山県立永見高等学校    | 道徳ガイダンス                                                   |
|       | 2019年7月24日  | 富山県立志賀野高等学校   | 道徳ガイダンス                                                   |
|       | 2019年10月30日 | 富山国際大学付属高校    | 道徳ガイダンス                                                   |
|       | 2019年11月19日 | 富山県立能登小学校     | 平成30年度 支援型訪問研修会                                           |
| 瀬戸 博  | 2019年11月22日 | 南砺市立能登小学校     | 南砺市立能登小学校 自主研究発表会(南砺市学力向上市町村教育委員会プラン策定事業拠点校研修会・兼富山IESD講座) |
|       | 2019年1月29日  | 富山県立富山南高等学校   | 平成30年度「大学連携講座」題目「小学校から学ぶ英語」                               |

|       |                             |             |                           |
|-------|-----------------------------|-------------|---------------------------|
| 堀江 英一 | 2018年8月17日                  | 富山県立富山南高等学校 | 富山県立富山南高等学校 合唱コンクール       |
|       | 2018年8月23日                  | 富山県立富山南高等学校 | 平成30年度富山県立富山南高等学校 合唱コンクール |
|       | 2018年8月31日                  | 富山県立富山南高等学校 | 平成30年度富山県立富山南高等学校 合唱コンクール |
|       | 2018年10月27日                 | 富山県立富山南高等学校 | 合唱コンクールの特別審査              |
|       | 2018年10月27日                 | 富山県立富山南高等学校 | 合唱コンクールの特別審査              |
|       | 2018年10月27日                 | 富山県立富山南高等学校 | 合唱コンクールの特別審査              |
|       | 2018年10月27日                 | 富山県立富山南高等学校 | 合唱コンクールの特別審査              |
|       | 2018年10月27日                 | 富山県立富山南高等学校 | 合唱コンクールの特別審査              |
| 村上 高  | 2018年6月11日                  | 富山県立八尾高等学校  | 福祉マインドとは                  |
|       | 2018年6月15日                  | 富山県立富山南高等学校 | 「よりよいコミュニケーションとは」         |
|       | 2018年6月19日、20日、7月3日、10日、17日 | 富山県立富山南高等学校 | 専攻科看護科(社会福祉(生活保護・障害者福祉))  |

|       |                                             |              |                                                         |
|-------|---------------------------------------------|--------------|---------------------------------------------------------|
| 石黒 卓子 | 2018年7月9日                                   | 富山県立西高等学校    | 道路ガイダンス(保育者の仕事と大学での学び)                                  |
| 本江 理子 | 2018年7月28日                                  | 伏木高等学校       | 道路ガイダンス(分野別説明会)                                         |
| 松山 友之 | 2018年7月9日                                   | 富山県立大門高等学校   | 富山県立大門高等学校(1年生対象)道路ガイダンス(富山国際大学子ども育成学部の学び-小学校教員になるために-) |
|       | 2018年12月10日                                 | 富山国際大学付属高等学校 | 平成30年度 富山国際大学・富山短期大学・付属高校連携講座(子どもと自然 子どもと科学)            |
| 佐藤利典彦 | 2018年8月7日                                   | 岐阜市立長良東小学校   | 長良東小学校運営協議会                                             |
|       | 2018年10月26日、11月2日、16日、30日、12月7日、14日、20日、21日 | 岐阜市立長良東小学校校長 | こよみのよぶね(冬至行事)における制作活動                                   |
|       | 2018年11月8日                                  | 福川幼稚園        | アクションペインティングワークショップ                                     |
|       | 2018年11月29日                                 | 福川幼稚園        | 顔を描こうワークショップ                                            |

### (3) 地域出向プログラム

| 氏 名   | 月 日            | 出 向 元                      | 出 向 名 称                        |
|-------|----------------|----------------------------|--------------------------------|
| 辻井 道雄 | 2018年5月25日     | 高岡市男女平等推進センター              | 平成30年度第1回高岡市男女平等推進センターネットワーク会議 |
|       | 2018年6月7日      | 高岡市立石田小学校                  | 学力向上委員会                        |
|       | 2018年7月31日     | 富山市教育委員会                   | いじめ対策委員会                       |
|       | 2018年9月7日      | 補習学園高岡部・補習小学校              | 富山フィールドワーク                     |
|       | 2018年9月25日     | 氷見市上庄小学校                   | 学力向上フロンティア事業(氷見市学力向上推進拠点校)     |
|       | 2018年10月10日    | 高岡市立石田小学校                  | 学力向上の学校訪問研修会                   |
|       | 2018年10月11日    | 朝水市長                       | 平成30年度第3回朝水市男女共同参画審議会          |
|       | 2018年11月1日     | 朝水市立中太田山小学校                | 学校訪問研修会                        |
|       | 2018年11月15日    | 高岡市立翠南小学校                  | 高岡市小中一貫教育推進事業の小中連携による授業等公開     |
|       | 2018年11月20日    | 高岡市立石田小学校                  | 学力向上委員会                        |
|       | 2018年1月31日     | 滑川市教育委員会                   | 市内小学校との学力向上懇談会                 |
| 辻井 道雄 | 2018年2月15日     | 朝水市教育委員会                   | サポートネットワーク会議                   |
|       | 2018年5月25日     | 高岡市男女平等推進センター              | 平成30年度第2回高岡市男女平等推進センターネットワーク会議 |
| 瀬戸 典  | 2018年5月30日     | 新潟県立教育センター                 | 平成30年度ミドルリーダー養成講座              |
|       | 2018年6月27日     | 氷見市教育文化センター                | 魅力ある学習づくり研修会                   |
|       | 2018年7月4日      | 氷見市教育文化センター                | 小中連携教育推進委員会                    |
|       | 2018年8月4日      | 高岡市教育センター                  | 高岡市ミドルリーダー研 修会                 |
|       | 2018年2月2日      | 戸田地区教育研究会                  | 戸田教育委員会                        |
| 井井 文之 | 2018年6月4日      | 小次郎市長                      | 第1回小次郎市小中学校訪問会審議会              |
|       | 2018年7月18日     | 小次郎市長                      | 小次郎市小中学校訪問会審議会専門部会(第1回中学校部会)   |
|       | 2018年7月29日     | 小次郎市長                      | 小次郎市小中学校訪問会審議会専門部会(第1回小学校部会)   |
|       | 2018年8月29日     | 富山県厚生労働部、富山県青少年福祉推進委員会     | 第4回「少年の主張富山県大会」における審査委員        |
|       | 2018年8月30日、31日 | 小次郎市長                      | 小次郎市小中学校訪問会審議会専門部会への派遣         |
|       | 2018年10月29日    | 小次郎市長                      | 小次郎市小中学校訪問会審議会専門部会(第2回中学校部会)   |
|       | 2018年10月24日    | 小次郎市長                      | 小次郎市小中学校訪問会審議会専門部会(第2回小学校部会)   |
|       | 2018年12月4日     | 小次郎市長                      | 第2回小次郎市小中学校訪問会審議会              |
|       | 2018年1月21日     | 富山県小学校教育研究会                | 教育研究論文等審査委員                    |
|       | 2018年1月29日     | 小次郎市長                      | 小次郎市小中学校訪問会審議会(氷見市視察)          |
|       | 2018年2月5日      | 富山県民生涯学習力レジャージ新波地区センター運営会議 | 富山県民生涯学習力レジャージ新波地区センター運営会議     |
|       | 2018年2月21日     | 小次郎市長                      | 小次郎市小中学校訪問会審議会(小中学校校長会との意見交換会) |
|       | 2018年2月25日     | 富山県民生涯学習力レジャージ学務           | 富山県民生涯学習力レジャージ運営会議             |
| 高田 雅  | 2018年12月4日     | 立山町長                       | 子育て世代包括支援センター事業研修会             |
| 村上 達  | 2018年5月29日     | 富山県生協くらしの助けあいの会(にこり会)      | 健康の基本(話すは技術、聴くは人の愛)            |



| 期 間     | 月 日                                                                  | 担 任 元                         | 講 演 名 称                              |
|---------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|
| 富 林 孝 嗣 | 2018年8月25日                                                           | 社会福祉法人新川会四ツ草                  | 虐待防止研修会                              |
|         | 2018年5月15日                                                           | 社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会              | 事業計画書作成研修会                           |
|         | 2018年11月17日                                                          | セーナー光船艇                       | セーナー免許研修会                            |
|         | 2018年7月30日、<br>2019年2月21日                                            | 富山県立富山高等学校                    | 県立高等学校教員会                            |
|         | 2018年7月17日                                                           | 特定非営利活動法人<br>自立生活支援センター富山     | 特定非営利活動法人自立生活支援センター富山第二委員会           |
|         | 2018年10月6日                                                           | 富山県児童発達支援センター                 | 富山県児童発達支援センター連絡協議会研修会                |
|         | 2018年5月28日、6月5日、7月29日、8月27日、9月25日、10月29日、11月27日、12月18日、2019年2月5日、26日 | 富山県厚生児童福祉課長                   | 富山県高等特別支援学校施設整備等に係るアドバイザー            |
|         | 2018年8月31日                                                           | 富山県福祉サービス第三委員会運営協議会事務局        | 富山県福祉サービス第三委員会運営協議会                  |
|         | 2018年12月11日                                                          | 新川地域自立支援協議会                   | 平成30年度第1回介護グループホーム実践者研修会             |
|         | 2018年6月13日                                                           | 富山県厚生児童福祉課長、<br>富山県厚生児童福祉課長   | 平成30年度施設支援事業協議会養成研修会                 |
|         | 2018年5月14日                                                           | 富山県厚生児童福祉課長、<br>富山県厚生児童福祉課長   | 平成30年度第1回富山県施設支援事業報告会打ち合わせ           |
|         | 2018年12月19日                                                          | 富山市長                          | 平成30年度第1回富山市障害者自立支援協議会権利擁護委員会        |
|         | 2018年6月5日                                                            | 社会福祉法人富山県社会福祉協議会、富山県福祉カレッジ    | 平成30年度富山県障害者(児)ホームヘルパー等養成研修          |
|         | 2018年8月1日、11月13日                                                     | 富山県厚生児童福祉課長、<br>富山県厚生児童福祉課長   | 平成30年度富山県施設支援事業研修                    |
|         | 2018年10月3日                                                           | 富山県厚生児童福祉課長、<br>富山県厚生児童福祉課長   | 平成30年度富山県施設支援事業研修の打ち合わせ              |
|         | 2018年9月20日                                                           | 富山県厚生児童福祉課長、<br>富山県厚生児童福祉課長   | 平成30年度富山県施設支援事業視察研修の打ち合わせ            |
|         | 2018年10月9日                                                           | 富山県厚生児童福祉課長、<br>富山県厚生児童福祉課長   | 平成30年度富山県施設支援事業視察研修の打ち合わせ            |
|         | 2018年8月28日                                                           | 富山県厚生児童福祉課長、<br>富山県厚生児童福祉課長   | 平成30年度富山県施設支援事業初任者研修(講習)の打ち合わせ       |
|         | 2018年6月19日                                                           | 富山市共同委員会                      | 平成30年度富山市共同委員会審査委員会                  |
|         | 2018年11月20日                                                          | 富山市社会福祉協議会                    | 平成30年度とやま福祉後援サポーター第1回講習委員会           |
|         | 2018年6月29日                                                           | 富山県厚生児童福祉課長、<br>富山県厚生児童福祉課長   | 平成30年度第2回富山県施設支援事業報告会打ち合わせ           |
| 横 山 友 之 | 2018年9月20日                                                           | 富山県福祉支援センター<br>連絡協議会          | 地域福祉支援センター職員研修会                      |
|         | 2018年2月22日                                                           | 特定地域福祉支援センター                  | 施設訪問にも関わらずまちづくり事業研修会                 |
| 大 平 孝 子 | 2018年4月30日、5月6日                                                      | 一般社団法人メンタルヘルス協会               | 平成30年公認心理師現任者講習会プログラム                |
|         | 2018年7月2日                                                            | 独立行政法人労働者健康安全機構富山産業保健総合支援センター | 施設対応力向上セミナー                          |
|         | 2018年8月3日                                                            | 富山県障害者センター                    | 平成30年度県庁職員研修(初任者研修会)・新規採用職員研修会(基礎研修) |
|         | 2018年8月22日                                                           | 富岡市長                          | 富岡市男女平等推進市民委員会                       |
|         | 2018年8月24日                                                           | 独立行政法人労働者健康安全機構富山産業保健総合支援センター | 特定自主検査研修期間中・巡回派遣員合同会議における講演          |
|         | 2018年10月9日                                                           | 公立学校共済組合富山支部                  | 平成30年度「心と体の健康づくり」事業におけるメンタルヘルスサポート   |
|         | 2018年10月29日                                                          | 独立行政法人労働者健康安全機構富山産業保健総合支援センター | 平成30年度(第2回)産業保健調査研究発表会               |

| 期 間     | 月 日         | 担 任 元                  | 講 演 名 称                                                                                       |
|---------|-------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大 平 孝 子 | 2018年11月13日 | 富山県福祉支援センター所長          | 結婚のメンタルヘルス講座                                                                                  |
|         | 2018年11月19日 | 富山県産業保健総合支援センター        | 施設対応力向上セミナー                                                                                   |
|         | 2018年11月29日 | 富山県福祉支援センター            | 富山県福祉支援センターの職員研修                                                                              |
|         | 2018年12月10日 | 富山県福祉支援センター所長          | 平成30年度介護予防ケアマネジメント専任者(福祉研修)                                                                   |
| 横 山 友 之 | 2018年7月28日  | 富山県立大学・富山短期大学          | 富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会)富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会)富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会) |
|         | 2018年9月22日  | 富山県立大学・富山短期大学          | 富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会)富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会)富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会) |
|         | 2018年10月6日  | 富山県立大学・富山短期大学          | 富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会)富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会)富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会) |
|         | 2018年10月27日 | 富山県立大学・富山短期大学          | 富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会)富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会)富山県立大学・富山短期大学リレー講座(富山県市町村福祉協議会) |
| 佐藤利典彦   | 2018年7月21日  | 平成30年度富山県福祉士養成セミナー     | 平成30年度富山県福祉士養成セミナー第2回実行委員会開催                                                                  |
|         | 2018年8月1日   | 富山県子ども文化事業実行委員会、中野興隆の会 | 子ども木の森創作教室                                                                                    |
|         | 2018年8月7日   | 富山県市町村福祉協議会            | 富山県市町村福祉協議会                                                                                   |



(4) 令和2年度教員免許状更新講習

- ・内 容：必修領域・選択必修領域開講
- ・募集期間：令和2年7月1日（水）～7月10日（金）
- ・日 程：令和2年8月18日（火）・19日（水）
- ・受講者数：4名（幼稚園教諭免許状4名）
- ・認 定 者：4名
- ・開催場所：Z o o mによる遠隔開催

## 2 課題 ＜国際交流・地域貢献＞

(1) 子ども育成フォーラム

子ども育成フォーラムは、ひとづくり財団の助成金が2019年度から大幅な減額となったため、W e bを活用した案内、申込等により、パンフレットの発送、申込用紙の印刷物作成は必要最小限としている。

本年は遠隔にて実施したが、今後もより一般の方が参加しやすいこのZ o o mでの開催継続を推進を考えたい

(2) 令和2年度教員免許状更新講習

コロナ禍のなか本年度はZ o o mによる遠隔開催としたが、少人数の申込とはいえ受講者側の通信環境や保有するP Cの能力が低いことを原因とする当日トラブルが頻発した。対応できる職員の数も限られており、今後も対面授業が困難となる場合、開催方法について検討が必要である。

## ＜研究活動＞

### 1 実績と現状

(1) 子ども育成学部紀要 第12巻

第1号（2020年10月号）で3篇、第2号（2021年3月号）で3編、計6篇の投稿があった。投稿者は、学部専任教員延べ8名、外部からの参加者4名だった。

第1号 【 論 文 】 河崎美香「特別支援学校と放課後等デイサービスとの連携の現状と課題ー知的障害特別支援学校教員への質問紙調査よりー」

堀江英一「中山晋平が残した富山の名曲」

【研究ノート】 村上 満・浜松一美・小柴徳明・西川悟喜・田中史「地域福祉分野におけるICT利活用に関する研究ーテキストマイニングを用いた“ICT実証実験”の効果検証ー」

第2号 【 論 文 】 石倉卓子・相山馨・河崎美香「保育・教育・福祉における「環境」とは」

福島美枝子「高校英語における読みの技能の育成に関する一考察～コミュニケーション英語Ⅱの検定教科書の分析を通して～」

【研究ノート】 彼谷 環「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める地方の動き」

## （２）助成研究への取り組み

### ①文部科学省学術研究助成基金（科学研究費補助金）～ 基礎研究（C）

相山 馨「家族介護者ケアマネジメントツールの開発と包括的家族介護者支援システムの構築」（研究代表者：2019 年度～2021 年度）

大平泰子「デート DV の発生メカニズムの解明と個人特性に基づく予防教育プログラムの検討」（研究分担者：2019 年度～2022 年度）

瀬戸 健「教員や保育士等、実践側のニーズを踏まえた幼保小接続に関する意思決定過程の研究」（研究代表者：延長）

### ②(財) 富山第一銀行奨学財団助成研究

大平泰子「子どもの発達をふまえた幼児期からの市民教育に向けての予備的研究」

奥田秀巳「表現活動を通じた哲学対話の実践と学習プログラムの開発」

松山友之「小学校プログラミング教育導入に向けたシンプルな学習プログラミングの開発と実践－教職課程への応用を目指して－」

### ③学長裁量経費

#### 【子ども育成学部の教員が申請者（代表者）である研究】

奥田秀巳・河野信「富山国際大学スマートキャンパス構想実現の先駆としてのスマートラボラトリーの実現」

金子泰子「幼児期の投能力の向上に有効な運動遊びの検証について」

金子泰子・宮島秋子・宮脇範純・野原将史・東海茉莉花「コロナ休校からの早期体力回復及び新たな運動・スポーツ指導体制構築プロジェクト」

佐部利典彦・古田啓一・瀧川織江・奥田秀巳「対話すること（人、アートと）」

佐部利典彦・松山友之・明柴聡史「SDGs 教育の楽しい普及」

#### 【子ども育成学部の教員が共同研究者として参加した研究】

一井崇・彼谷環・本江理子「主体性の保障に関する研究～障害者、ジェンダー、保育・幼児教育の視点からの一考察」

河野信・川本聖一・佐藤悦夫・佐部利典彦「3Dプリンターを利用した教育・研究システムの構築」

## （３）FD 研修会

① 一般社団法人学修評価・教育開発協議会主催 2020 年度第 1 回共同 FD 研修会（2020 年 9 月 10 日・オンライン）「ビッグデータとデジタル技術が変える科学と社会－生命科学を例として－」（講師：高木利久学長）

② FD・SD ハラスメント研修会（2020 年 9 月 10 日・オンライン）「最近のキャンパス・ハラスメントを考える－性暴力被害の防止対策も含めて－」（彼谷環教授）

③ FD・SD 入試・学生募集研修会（2020 年 10 月 14 日・オンライン）「コロナ禍における学生募

集の現状と今後の課題について」(進研アド 岸本直哉氏)

- ④ 全学FD・SD研修会(2021年2月24日・オンライン)「卒業論文・研究ループリックについて」(大谷考行教授)、「改正著作権法第35条運用指針等について」(酒井誠教務課長)

(4)「富山国際大学30周年記念 第12回子ども育成フォーラム」(2021年3月20日)

大学創立30周年を記念し、「コロナ禍における学校教育～ICTの活用」という主題で小田仁洋氏(富山市立速星中学校教頭)によるオンラインの講演が行われた。県内学校関係者、富山国際学園関係者、本学部学生など約160名の参加があった。学校のホームページに学校行事の動画がアップされたところを起点とし、YouTubeでの配信も可能になるなどの進化を経て、コロナ禍における生徒達へのメッセージの発信やオンライン授業の配信にまで発展していった過程を詳しく学んだ。

(5) 学生の研究活動

「富山国際大学子ども育成学部小学校教育研究学会」は、在学生と教育現場で活躍している諸先輩との交流に努めており、6月には集団討論練習会、1月には先輩と語る会を開いた。また、1月20日には松嶋智氏(西部教育事務所主任指導主事)を講師として招き、教員としてのあり方を学ぶ研修会を行なった。

## 2 課題 <研究活動>

- (1) 学部紀要への投稿数は、2018年度まで11篇から24編までの幅で推移し、平均は約15編だったが、2019年度に初めて10篇を切り、2020年度は6篇にまで減った。この調子で減少すれば、学部紀要の存続が危ぶまれる。個々の教員の外部での研究(著作・論文・口頭発表)の実績は本稿では把握できていないが、そこでも研究の減少が見られるのなら、職場環境の改善に真剣に取り組むべきである。
- (2) 文部科学省学術研究助成基金(科学研究費補助金)は2020年度に新規採用がなく、この面での実績が低迷している。一方、学長裁量経費による研究への応募状況は大変活発であり、共同研究への意欲も見られて喜ばしい。富山第一銀行の助成研究も含め、研究成果の発表が望まれる。
- (3) 研究サロンは一度も実施されなかったため、2021年度での実施が望まれる。FD/SD研修会は、オンラインが導入されたこともあってか、例年にも増して回数が多く活発な印象だった。
- (4) 子ども育成フォーラムは、事後のアンケート(110名回答)では回答者の80%近くが「(講演が)参考になった」と回答し、20%が「ある程度参考になった」と答えており、タイムリーなテーマで参加者の関心が高かったことが分かる。本学部生への教育的効果も大きかった。
- (5) コロナ禍の中でも「小学校教育研究学会」は地道に研修活動を続けている。また、実践的な学びの場である小学校の理科や英語の授業での補助活動は、年度初めの小学校での登校禁止によって停滞したものの、最終的には従来と同様の派遣実績となった。

## Ⅲ 学生支援・キャリア支援

### < 学生支援 >

#### 1 実績と現状

##### (1) 新規の取り組み

コロナ禍のため、学生による新規の取り組みは実践できなかった。

##### (2) 現状 (1=1年生、2=2年生、3=3年生、4=4年生)

以下①～⑪については、全てコロナ禍のため中止となった。また、⑦のサークル活動については大きな制限を受け、対外的な活動はほとんどできなかった。⑬の夢への懸け橋事業についても同様に活動に制限を受けた。

① 学部交流会 (1234) アルビス小杉総合体育センター

② オリエンテーション交流合宿 (12) 国立能登青少年交流の家

③ スポーツ文化交流会 (1234) 東黒牧キャンパス(運動系・文化系)

④ 学友会の運営支援 (1234)

総会、七夕祭、オープンキャンパス、クリスマス会、音茶会「なごみ会」

⑤ 大学祭実行委員会の運営支援

⑥ 大学祭(第10回仁友祭)の開催

卒業研究中間発表(3)、卒業研究ゼミ紹介(4)、各実習紹介(1234)

各サークル企画イベント(1234)、模擬店(1234)

⑦ クラブ・サークル活動への支援(1234) 運動8・文化13 計21サークル

(運動系) 女子軟式野球(短大と合同)、SPORTY、ダンス、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、フットサル、陸上競技

(文化系) 吹奏楽部、アカペラ、イラスト、SSW・BBS研究会、書道、Tuins English Club、TIES(富山国際大学小学校教育研究会)、

保育サークル～にこにこ～、学生団体MUL、茶道、軽音楽、

歩いて発見!となみ野サマーチャレンジ、I・C・S(R2.3現在)

⑧ 富山国際学園関連施設(みどり野幼稚園、にながわ保育園)での継続的ボランティア活動の実施、保育サークルにこにこ

⑨ カウンセリング及び適応困難学生のための適応支援チーム:随時実施

⑩ 防災訓練(1234)

⑪ 交通安全講習会(1234)

⑫ 学友会との懇談会(学友会と教職員)1回実施(R2.12)

⑬ 「夢への架け橋事業」への応募・実施(1234)4件

ア 科学実験教室・自然体験ボランティア活動(助成額100,000円)

イ こころプロジェクト(コロナに負けるな!こども食堂ローカルプロジェクト)(助成額98,980円)

ウ 小学校体育授業サポート(助成額74,000円)

エ 限界集落支援事業(助成額138,100円)

## 2 課題 ＜学生支援＞

### (1) 学生駐車場不足の問題

慢性的に、学生の駐車場については少ない状況が続いている。民間の駐車場の利用も含めようやく駐車可能な状況にある。さらに平成 29 年度末から始まったみどりの幼稚園の改築工事のため、厳しい状況が続いた。呉羽キャンパス全体的に短大、大学ともに駐車場不足が不足している。特に授業時間の関係で一時的に駐車できないこともある。慢性的な駐車場不足への対応が望まれる。

駐車許可証の発行については、正当な理由なく説明会に遅れた場合には配布しないこととなっているが、数名が期日に間に合わず、駐車許可証が発行されないケースがあった。また、複数回無許可の駐車があり同様に駐車許可証が発行されなかった。今後もこのルールは徹底するとともに、加えて駐車のマナーの徹底が求められる。

### (2) 学生駐輪場について

自転車通学の学生の駐輪場も不足してきている。

### (3) 学生の支援体制について

ボランティア活動先でのトラブルがあった。学生の活動が広がることによって、トラブルが発生することは予測される。その対応、連絡、報告系統の明確な確率が必要であると考え

る。  
大学での人間関係や、忙しすぎる日常で、疲れが蓄積し、鬱傾向になる学生が見受けられ

## ＜キャリア支援＞（資格取得・就職）

### 1 実績と現状

#### (1) キャリア支援計画

1 年次から 4 年次までのキャリア関連講座（正規科目）を分野（小学校教育、保育・幼児教育、社会福祉、一般企業）ごとに立案、実施した。

キャリア入門講座（1 年次担当・後期）は、現場の専門家や OB・OG による特別講義を開催した（小学校分野(1/6)・保育分野(11/30)・社会福祉分野(12/7)）。キャリア支援講座Ⅰ（2 年次担当・通年）、キャリア支援講座Ⅱ（3 年次担当・通年）、キャリア支援講座Ⅲ（4 年次担当・通年）では、分野ごとに異なる就職採用時期を前提とした決め細やかなシラバスを作成、実施した。

#### (2) 就職状況の周知

学生は就職活動状況を、教員はゼミ生の就職状況を、状況が変化するとともにキャリア支援センターに報告し、定例教授会で全教員に進捗状況を周知した。活動終盤で進路変更する学生や、年度末に就職条件を満たせなくなった学生に対する特別な支援が必要となった場合、本委員会全体で支援策についての情報を共有することを心がけた。

#### (3) 資格・免許希望調査

1 年生に対して、キャリア関連講座の分野配属に影響する資格・免許履修の確認をした

(R3.3)。

(4) 公務員・教員採用試験対策講座：新型コロナウイルス感染拡大防止に最新の注意を払い、連日キャリア委員間で対策見直しを図り、呉羽キャンパスにて 6 日間実施した (R2.3)

(5) 模擬試験の実施

小学校教諭希望 3 年生対象 (時事教育出版局：一般教養・教職教養 R2.5/13・専門科目 R2.5/20) 及び (一般教養・教職教養 R2.11/16・専門科目 R2.11/30)、4 年生対象 (一般教養・教職教養 R2.5/11・専門科目 R2.5/18)

幼稚園教諭・保育士・保育教諭希望 3 年生対象 (実務教育出版：一般教養・教職教養 R2.5/27、専門教養 R2.6/3)、4 年生対象 (一般教養・教職教養 R2.5/11、専門教養 R2.5/18)

社会福祉士希望 3,4 年生対象 (中央法規 R2.8、日本社会福祉士会 R2.10、社会福祉士養成校協会 R2.12)

(6) 保育・幼児教育分野の就職に関する懇談会

今年度はコロナ禍のため、15 カ所 (卒業生複数就職法人 10・連携協定締結自治体 5) へのアンケートによる意見集約を行った。3 月 16 日現在、7 カ所から返答あり。

① 期間：令和 3 年 2 月下旬～3 月末日

② 返信・返送のあった法人 (2)・自治体 (5)

わかくさ福祉会 (山崎 哲雄 理事長)、穀行福祉会 (柳溪 暁秀 理事長)、富山市役所子ども家庭部子ども保育課指導育成係 (山岸様)、射水市役所子育て支援課保育・幼稚園係 (藤井様)、高岡市福祉保健部 子ども・子育て課 (担当者)、黒部市役所子ども支援課 (担当：吉松様)、南砺市役所子ども課 (担当：溝口様)

③ 富山県主催「保育士養成・確保に関する意見交換会」には宮田教授が出席した。

(7) 各分野の採用状況・採用試験問題等の整理

昨年度に準じ、今年度の小学校教員・幼稚園教諭・保育士・保育教諭・社会福祉士の採用状況及び受験状況を各市町・事業所ごとにまとめ、面接・筆記試験等の内容を整理した。

(8) 福祉のお仕事フェア in TOYAMA への参加

富山国際会議場にて、コロナ対策を講じ、福祉・介護分野 (R2.9/19、20) では 4 年生 12 名の学生が、児童分野 (R2.7/26) では 4 年生 14 名が参加した。

(9) 学内企業研究会への参加

東黒牧キャンパスで行われた「学内企業研究会」に、一般企業を希望する学生 6 名が参加した (R3.2/12、2/16)。

(10) 自主研修 (インターンシップ)

将来の進路に備え自主的に研修を行う「自主研修」の学年別内訳は、4 年生 (4 名)、3 年生 (3 名)、分野別では、保育分野は 3,4 年生延べ 4 名であった。

(11) 「労働法セミナー」の開催

昨年度に続き、3 年生を対象に富山労働局出前講座「労働法セミナー」を開催した (R3.2/8)。今年度はコロナ感染防止のため、zoom によるオンライン開催となった。労働基準監督官らによる労働者のための法律についての基礎知識、求人票の見方について講義を受けた。

(12) その他

① 小学校で理科実験の準備や後片付け等を行う「観察実験アシスタント」には、29 名 (う

- ち1名は未配置)の学生が登録し、28名が延べ40校の県内小学校で勤務した(兼務12名)。
- ②インターンシップⅠには3年生(11名)が、インターンシップⅡには4年生(35名)が履修参加した。
- ③ 小学校で英語活動を支援する「英語学習パートナー」には、本学部から滑川市に2名、立山町に1名、射水市に2名、高岡市に2名、南砺市に4名の計11名を派遣した。
- ④ 保育分野では、呉羽キャンパス内におけるみどり野幼稚園の保育サポーターが、コロナ禍のため受入不可であった。にながわ保育園、西田地方保育園での保育サポーターは3月16日現在、3、4年生延べ21名が参加した(にながわ保育サポーター12名、西田地方保育サポーター9名)。
- ⑤ 富山県主催の全学年対象「保育所・認定こども園見学バスツアー」には1・3年生数名が直接申し込み、参加した。
- ⑥ 社会福祉士国家試験に21名が受験し、18名が合格した。

## 2 課題 <キャリア支援>

今年度は、前期開始当初より新型コロナウイルス感染拡大防止により、全面遠隔授業となったことから、就職指導から採用試験までの一連の就職支援についても、キャリア支援委員会と全教員との情報共有のもと、その時々により最善の方法を模索し、きめ細やかな対策指導を心がけた。

保育分野は、コロナ禍による現場見学が難しい状況であったため、1年生からの早い段階による見学、収束しているタイミングを逃さない就職活動が必要である。また、施設実習Ⅰ(2年次)で一部学生が代替演習、保育所実習Ⅱ・施設実習Ⅱ(4年次)ですべての学生が代替演習に切り替えとなったため、在学生については、保育現場での自主研修(インターンシップ)を通して実践力を補う必要がある。なお、就職アンケート結果より、コミュニケーション能力の育成、実習におけるキャリア教育の方法について現場との協議に努める必要がある。

社会福祉分野では、遠隔の場合は例年どおりの社会福祉士国家試験受験対策のトレーニングを実施することが困難になるため、指導方法に工夫が必要になる。

全分野において、遠隔による就職指導の時期が長く、就職率への影響も懸念されていたが、「学生一ゼミ担当教員一キャリア支援委員会」の関係性を密にし精神的支援に力を入れたことから、昨年同様高い就職率を維持することができた。しかし、全国ならびに首都圏等への緊急事態宣言により経営難に陥る企業・事業所も多く、次年度の就職支援にもきめ細やかな対策を講じる必要がある。

## 令和2年度卒業生（114名）の進路状況（令和3年3月18日現在）

| 小学校教育分野 37<br>小学校教諭・講師                                                                                                                           | 保育・幼児教育分野 32<br>保育士・幼稚園教諭                                                                                                                    | 社会福祉分野 21<br>社会福祉士・相談員等                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 富山県公立学校教員(小学校) 32<br>富山県公立学校講師希望 5                                                                                                               | 富山市保育士 10<br>高岡市保育士<br>滑川市保育士<br>黒部市保育士 2<br>砺波市保育士<br>南砺市保育士<br>射水市保育士                                                                      | [県市町]<br>富山市社会福祉士 2<br>高岡市社会福祉士<br><br>[社会福祉協議会]<br>砺波市社会福祉協議会<br>氷見市社会福祉協議会(臨時)                      |
| 企業等 11                                                                                                                                           | 黒部市保育士(会計年度任用)                                                                                                                               | [障害福祉施設・事業]<br>射水福祉会 2<br>溪明会<br>セーナー苑 2<br>たかおか新生会<br>めひの野園 2                                        |
| 丸栄運輸機工(株)<br>セントラルスポーツ(株)<br>富山トヨタ自動車(株)<br>(株)インディオ富山<br>(株)テルズ&クイーン<br>(株)ほくつう<br>(株)富山富士通<br>やけるやんか千房富山駅前店<br>(株)立業社<br>富山交易(株)<br>なのはな農協共同組合 | アルペン会<br>わかば福祉会 2<br>高陵児童福祉会<br>ほうりん福祉会<br>華聴学園<br>新川児童福祉会<br>わかくさ福祉会<br>つつみ会<br>杉の子保育園<br>毅行福祉会 2<br><br>(株)テクノコーポレーション<br>HITOWA キッズライフ(株) | [児童福祉施設・事業]<br>子供の家<br>聖霊病院<br><br>[病院]<br>金沢医科大学病院<br>かみいち総合病院<br>秋桜<br>真生会<br>藤聖会<br>恩賜財団済生会(介護福祉士) |
| 公務員等 4                                                                                                                                           | 進学 5                                                                                                                                         | その他 4                                                                                                 |
| 氷見市職員<br>滑川市職員<br>上市町職員<br>入善町職員                                                                                                                 | 富山大学大学院<br>上越教育大学大学院 4                                                                                                                       |                                                                                                       |

### ■主な試験等の結果（既卒者含む）

富山県公立学校教員（小学校） 44名合格（うち既卒者9名）

富山県内市町村保育士 18名合格（会計年度任用者含）

### ■複数免許・資格の取得

(1) 1人当たりの法定免許・資格(小・幼・保・社(受験資格))取得数:

4種類 = 2名 3種類 = 37名 2種類 = 50名 1種類 = 23名

(2) 資格・免許取得のべ数:

- \* 小学校教諭一種免許状: 69名 (60.5%)
- \* 幼稚園教諭一種免許状: 85名 (74.6%)
- \* 保育士資格: 66名 (57.9%)
- \* 社会福祉士(国家試験受験資格): 22名 (19.3%) うち合格者 18名(受験者21名)
- \* 社会福祉主事任用資格: 113名 (99.1%)
- \* スクールソーシャルワーク教育課程修了: 5名 (4.4%) うち認定者 5名



## Ⅳ 入試・情報発信

### <入試>

#### 1 実績と現状

令和3年度入試志願者数は、コロナ禍により県外大学を敬遠した学生がいたため320名(定員90名の3.56倍)となり44名も昨年度より増加した。また、普通科単独校からの志願も増加して、受験生の質も向上した。この傾向は近年顕著であり、入学者の中にも担任の先生の勧めがあったことを進学理由に挙げる学生が多くなった。このことは県内の小学校教員への高い合格率や社会福祉士国家資格への合格率から、県内の高校の進路担当者の本学科に対する信頼が高まるとともに強い期待が伺える。

3年次編入生も6名(定員充足率120%)であった。富山短大福祉学科からの編入生が4名おり、学園内連携の推進が効果を表したといえる。その反面、編入生については入学後の大学生活や学業を十分に行えるように、面接等での判定に関して基準を見直す必要がある。また、受験生の得点が向上したことから合否判定の基準の見直しや補欠合格についても運用の見直しを図る必要がある。

(参考) 平成27～令和3年度入試の状況

|        | 募集人員 | 志願者 | 合格者 | 入学者 | 備 考                   |
|--------|------|-----|-----|-----|-----------------------|
| 3年度入試  | 90名  | 320 | 223 | 104 | 推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型 |
| 3年次編入学 | 5名   | 9   | 7   | 6   | 3年次編入学                |
| 2年度入試  | 90名  | 276 | 185 | 89  | 推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型 |
| 3年次編入学 | 5名   | 6   | 4   | 4   | 3年次編入学                |
| 元年度入試  | 90名  | 270 | 197 | 99  | 推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型 |
| 3年次編入学 | 5名   | 5   | 3   | 3   | 3年次編入学                |
| 30年度入試 | 90名  | 247 | 177 | 91  | 推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型 |
| 3年次編入学 | 5名   | 4   | 4   | 4   | 3年次編入学                |
| 29年度入試 | 80名  | 265 | 195 | 116 | 推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型 |
| 3年次編入学 | 5名   | 4   | 4   | 4   | 3年次編入学                |
| 28年度入試 | 80名  | 229 | 188 | 89  | 推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型 |
| 3年次編入学 | 5名   | 6   | 4   | 4   | 3年次編入学                |
| 27年度入試 | 80名  | 259 | 174 | 94  | 推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型 |
| 3年次編入学 | 5名   | 8   | 6   | 6   | 3年次編入学                |

#### 2 課題 <入試>

- (1) 受験する学生の実態を把握し、入試の合否判定基準の見直しや補欠合格の運用の見直しを図る。また、編入生の判定に関しても面接等の結果をもとに大学生活や学業が十分にできるように適切に判定できるようにする。
- (2) 学部の将来構想を踏まえ、学部の魅力を適切に情報発信し、目的意識が明確な学生が応募できるようにする。

## ＜情報発信＞ 「後援会・家庭連絡」

### 1 実績と現状

#### （１）後援会総会・個別相談会

R2.6 の後援会総会はコロナ禍により中止になり、個別相談会も開催されなかった。

#### （２）大学祭・保護者懇談会

R2.10 の保護者説明会は中止にしたが、保護者懇談会を 10/19～10/23 に開催し、懇談が不都合な保護者に対しては柔軟に対応した。18 名の希望者及び学部からの召喚者に対して、個別の相談会を実施し、各ゼミ担任が対応した。

#### （３）保護者あて「学生の皆さんの概況について」の送付

R2.5 に第 23 報、R2.9 に第 24 報を送付して、学部の概況、各学年の学生の状況、家庭への要望事項などを記した資料を配布した。執筆は、学部長及び各学年演習担当者。

※別紙「第 23 報」及び「第 24 報」を参照

#### （４）その他家庭との連絡・保護者面談など

学業成績や学習態度、欠席多数などの問題、休学や退学、学外実習許可の履修要件に抵触する学生などの保護者について、適宜ゼミ担任または適応支援チームが個別面談の機会をもち、家庭への状況説明と情報収集、連携協力依頼などを行った。

## 2 課題 ＜情報発信＞

### （１）家庭との連絡・協力の一層の緊密化

現状では、問題発生への対処として個別相談を実施しているが、問題の予防的な意味からも、教員間の状況共有や平常時からの家庭との連絡・協力をより緊密にしていく必要がある。

### （２）相談記録の集約・保存・引き継ぎ・活用

家庭との相談の記録、学生の状況記録などは、各ゼミ担任個人レベルでの整理・保存にとどまっており、記録の作成・引き継ぎなどについては、記録用の様式について、学部として一定の書式が確認されたが、完全なルール化と円滑な運営までには至っていない。しかし、健康面で配慮が必要な学生について、健康センターとの情報共有がより一層行われるようになり、学生への支援が充実してきた。

既存の「学生に関する調書」と一体化した上で、一括管理して、記録、保存、閲覧、引継できるようにしていく必要がある。

## V マネジメント体制

### 1 実績と現状

#### (1) 子ども育成学部アクションプランの策定

- ① 全学のアクションプラン（H30～）に対応した取り組み  
平成30年度からのアクションプランの策定が行われ、具体的な活動計画（5カ年計画）に沿って取り組んだ。
- ② 子ども育成学部の各部署の新規・重点事項の設定  
アクションプランに呼応しつつ、学部内の各部署の新規・重点事項の設定について検討を行う必要がある。

#### (2) アクションプラン等の整合性

令和2年度は、新教育課程及び新保育者養成課程の展開の充実に取り組んだ。

- ① 令和元年度新教育課程及び新保育者養成課程の実施2年目  
改革された新教育課程による授業に取り組んだ。
- ② 学生支援の充実  
コロナ禍のため学友会・サークル活動・同窓会活動など学生支援を充分に行えなかった。学友会の行事がほとんど中止になり、学生を伸ばす機会がなかった。
- ④ キャリア支援の充実・体系化  
必修科目「キャリア入門講座」、選択科目「キャリア支援講座Ⅰ」、「キャリア支援講座Ⅱ」、「キャリア支援講座Ⅲ」となり、すべての学年で正規科目として実施して3年目となった。それぞれの分野で、教員が工夫・改善を行い、成果を挙げている。
- ⑤ 研究・交流事業（子ども育成研究交流センター）の強化  
新型コロナウイルスの感染防止のため、フォーラムが年度の終わりの3月に開催になってしまった。内容は、コロナ禍における対応としての的確であった。
- ⑥ 実習環境の整備  
実習事務担当者の配置は、困難な状況が続いており、未達成である。短大との協議をしたが、配置に向けて難しい状況である。

#### (3) 「子ども育成学部の教育課程」の一部変更

- ① 社会福祉士養成カリキュラムの見直し(令和3年度開設)  
令和2年3月に社会福祉士介護福祉士学校指定規則及び社会福祉に関する科目を定める省令の改正により、令和3年4月より新社会福祉士養成カリキュラムを開設する予定である。  
また、ソーシャルワーク演習について見直しを行い、富山国際大学子ども育成学部授業科目に関する規定第4条1項に定められた単位数（講義及び演習科目については15時間の授業をもって1単位とする）に令和3年度4月より変更する予定である。  
さらに、令和2年5月27日の学則改正により、令和3年度入学生から適用される富山

国際大学保育士養成課程においては、「幼児理解」（2 年次：演習 2 単位）を「児童福祉法施行規則 6 条の 2 第 1 項第 3 号の指定保育士養成課程施設の就業教科科目及び単位数並びに履修方法」（平成 13 年厚生労働省告示大 98 号）別表第 1 による教科目「子どもの理解と援助」（演習 1 単位）として読み替える予定である。

## 2 課題

### （１）アクションプラン等の実施と PDCA サイクル化

アクションプラン（全学・学部）と、それとの関連で学部各部門の行動計画や重点的に取り組む事項についても、確実に実施して PDCA サイクル化していかなければならない。

### （２）学園創立 50 周年以降の中長期的構想

今後の少子化を見越して、学園全体の将来構想の中・長期的な検討が必要である。

### （３）子ども育成学部の中長期的構想

学生が質のよい学修ができているか状況を把握しながら、工夫・改善に向けて検討が必要である。学生の実態に合った学びができるように組織改革を図る必要がある。

**はじめに**

日頃のご理解ご支援、感謝申し上げます。

開設12年目の子ども育成学部は、入学者累計1098名、卒業生総数675名、2020年度定員充足率110.8%となり、学生同士が切磋琢磨する環境が整っています。入学定員90名として3年目になりました。今後は、共存・共生の精神と知性を磨く教育を一層推進してまいります。

学部と学生の皆さんの概況についてお知らせします。保護者の皆様方には、大学での学びと生活についてご理解いただき、ご家庭での懇談や指導などのご参考にしていただければ幸いです。

**2. 学生・教職員の現況 (2020年度始めの現況)**

・ **学生** 1年生90 2年生98 3年生96 4年生115 合計399名 (内訳)〔男子79:女子320〕〔富山388:新潟4:石川4:福井2:滋賀1〕

・ **教員** 専任20(教授10・准教授6・講師4)、学园内兼任10、非常勤講師34、合計64名

・ **職員** 専任事務3、兼任事務4、契約参事1、派遣事務1

**3. 第8期卒業生(95名)の就職・進学状況 (2020.5.1現在) (7期生を上回る成果を挙げました。)**

・ **就職率100%** 小学校教諭29(うち講師6)、保育士・幼稚園教諭27、社会福祉職16、企業10、公務員等3、大学院5

・ **資格/免許** 小学校教諭63 幼稚園教諭62 保育士53 社会福祉主事任用資格91  
社会福祉士18(受験資格22・合格18(合格率全国15位・全国私大で4位))スクールソーシャルワーカー4

**4. 2020年度の実践**

① 新型コロナウイルスの影響で、パソコンやスマホを使った遠隔授業を行っています。繋がりにくい学生には、ポケットWi-Fiを貸し出し、充実した環境で学修できるように取り組んでいます。

② 昨年、授業の一環として海外(マルタ、デンマーク、カナダ、中国)へ派遣した学生は16名でした。今後も、海外を体験できるよう支援します。

③ 毎月第4土曜日11時に、地域連携として学生主体の「子ども食堂」を開催しています。

④ 授業・行事や学生生活の様子が分かるよう、大学のホームページへの掲載に取り組んでいます。

**5. おわりに**

子ども育成学部は、「明日を担う子どもの育成を通して、地域に貢献できる人材の養成」を目的として、学生の皆さん一人一人の夢「なりたい自分」を叶えるための教育・研究に努めています。これまで10年間の教育実績も、高く評価され、注目されています。

今年度も、学生の皆さんの強い意志と自己向上努力を軸に、保護者の皆様方と共に歩んで参ります。今後ともご理解ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

(子ども育成学部長 辻井満雄)

**\* 個別懇談についてのお知らせ**

・ 講演会総会が中止になりました。しかし、ゼミ担任との個別懇談を希望する場合は、ご遠慮なくゼミ担任にお電話ください。なお、ゼミ担任(学部長)から保護者の方に、ご来談くださるよう別途お願いする場合があります。その節には、万障繰り合わせてご来場くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

新しい学生生活は、新型コロナウイルス対策の中、入学式も執り行われないう状態でのスタートとなりました。新入生の皆さんは、多くの不安を抱えながらの2ヵ月だったと思います。

さて、5月7日から遠隔授業が開始されましたが、例年ならば、オリエンテーション交流合宿等で新しく友だちができ、先輩たちから授業のことを聞くなど、大学生活についていろいろと情報を得る貴重な時期です。こうした状況の中、新入生の不安を少しでも取り除こうと、先輩たちが自主的に1年生に対しSNS等で呼びかけ、学生生活・サークル紹介などの企画をしてくれました。本学部の先輩・後輩たちの良好なつながりを示す好例ではないでしょうか。人生でおそらく二度と経験することのないこのような事態でも、新たな学び・新たな創造をすることは可能です。このような状況だからこそ、よりよい大学生活を送れるよう皆で力を合わせて乗り越えていきたいものです。

### 1. 富山国際大学で学ぶために

- ・ 教養演習(少人数で行う授業)で、5月中にリテラシーガイダンスを行い、第4回目に初年次教育として、学長特別講義『富山国際大学の歴史と基本理念』を実施します。

### 2. 授業など学習面について

- ・ 授業は、1コマ90分、夕方6時まで続くことがあります。慣れない遠隔授業で、戸惑うことも多いと思いますが、不明な点がありましたら質問するなど、どうか積極的に授業に参加してください。
- ・ 少人数で行う教養演習(ゼミ)があります。高校のクラスルームのような存在です。ゼミ担当教員に何でも相談してください。また、ゼミ毎の活動がありますので、ゼミ員の皆さんと交流しながら、大学生活を少しずつ理解していただければと思います。なお、7月には、ゼミ毎に進めていく共同研究の成果を発表する教養演習ゼミ別合同発表会を行う予定です。
- ・ 8月上旬に期末試験、夏季休業は8月中旬～9月末となっていますのでご理解願います。

### 3. 生活面について

- ・ 大学生活が順調に滑り出せるよう、ゼミ担当教員・事務職員・健康管理センター・カウンセラーなどが連携しながら適応支援に努めています。
- ・ 日々の授業への集中、規則正しい生活習慣と生活リズムの確立など、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

### 4. 就職等キャリア支援について

- ・ 今年は、新型コロナウイルスの影響で、専門職求人等の出だしは鈍いものの、教員をはじめ保育士・社会福祉士など県市町村の募集要項も順次公表されていくものと予想されます。後期には、「キャリア入門講座」を開講します。小学校教諭、保育士、社会福祉士の第一線の先生方をお招きして、教育・保育・福祉の現場の話を学生が直接聴く機会も設けます。

### 5. 学校行事等について

- ・ 新型コロナが終息するまで、これまで行ってきた行事等は控えることになります。

□ 保護者の皆様には、今後とも一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
(「教養演習」1年生担当：室林・佐部利)

2年生になり、5月8日からいよいよ本格的に遠隔授業が始まりました。慣れない中、しっかり授業に取り組もうとする姿が感じられます。

このような経験を糧に、一人ひとり着実に成長していくことを願っています。

### **1. 授業など学習面について**

- ・ 2年次から教育・保育・福祉分野の専門科目の授業や実習指導が本格的に始まりました。
- ・ 「教養演習」では、1・2年生合同で後輩と学び合い、改めて大学生活の基本を確認しました。今後は、7月のゼミ別活動合同発表会に向けて、ゼミ毎にテーマを決めて調査・探求を行い、1年生をリードしながら研究成果をまとめていきます。
- ・ 保育士資格希望者には、9月の学外実習「保育所実習Ⅰ(0～2歳児)」に向け、事前指導を行っています。7月には現場の保育者から直接講義を受けます。また、11月の「施設実習Ⅰ」に向け、準備を進めています。
- ・ 社会福祉士をめざす学生が「相談援助技術」を学ぶための演習も始まりました。具体的な援助場面を想定した実技指導で、専門的な技術とともにキャリア意識も深めていきます。

### **2. 就職等キャリア支援について**

- ・ 「キャリア支援講座Ⅰ」では、各分野の仕事への理解を深めたり、採用試験の概要を学んだりしています。この講座等を通して、進路を決定し希望を実現できるよう支援していきます。分野選択の悩みなどについては早めに遠慮なくお尋ねください。

### **3. 生活面について**

- ・ 自家用車通学者には事故防止のための注意を喚起しております。特に交通安全についてはご家庭でもご留意をお願いいたします。
- ・ 授業に欠席しがちな学生は、進路の迷いや友人関係の悩みを抱えている場合があります。欠席回数が多いと、実習の履修が許可されず資格免許の取得が困難になることや、期末試験の受験資格を失うことになる場合があります。ご家庭でのご支援をお願いいたします。
- ・ サークル活動は、新型コロナウイルス感染防止のため、対面で活動ができない状態です。この活動は、リーダーとして、フォロワーとして、地域で活動したり、他の団体と交流したりして、興味のある活動を通して様々なことを学ぶよい機会になっています。今後は、遠隔でできる活動の可能性を探っていく必要があると思います。授業や実習の合間を縫っての活動ですが、自己実現を支援していきたいと思います。
- ・ 夜遅くのアルバイトは控えるよう指導しています。基本は「学業が最優先」ですので、ご家庭でも、実情把握と適切なご指導をお願いいたします。

### **4. 学校行事について**

- ・ 例年4月に実施しておりましたオリエンテーション交流合宿は、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら中止になりました。今後は、教養演習ゼミを活用しながら、2年生と1年生との交流を図っていきたいと思います。

□ 2年生は、実習などを通して卒業後の進路を真剣に考え、絞っていく学年でもあります。保護者の皆様には、一層のご理解ご支援をくださいますようお願い申し上げます。

(「教養演習」2年生担当：堀江・河崎)

大学生活は、折り返しを過ぎて後半に入りました。今年は新型コロナウイルスの影響により経験したことの無い状態で始まりましたが、情報機器を存分に活用し、現状を乗り越えていくために努力をしています。残りの学生生活が有意義なものとなるよう願っています。

### 1. 学外実習について

- ・ 9月には、15日間の「教育実習」及び「幼稚園教育実習Ⅱ」が予定されています。
- ・ 教育実習に向けては、小学校で教える各教科について「教科教育法（10科目）」など「新小学校学習指導要領（平成29年改訂）」に沿った教材研究や指導案づくり、模擬授業など、主要教科目の専任教員により充実した指導が行われています。
- ・ 幼稚園教育実習Ⅱに向けては、指導実習のDVD視聴を通して、幼児との関わり方を考えたり、内諾実習園のHPを検索し、理念や保育の様子をとらえたりと、15日間の実習で多くの学びが得られるよう準備を進めています。遠隔操作での模擬保育に挑戦し、指導案作成や教材研究を行ったり、実習日誌を記入したりしながら、実践力をつけていきます。
- ・ 社会福祉分野では、3年次2～3月の「相談援助実習Ⅰ・Ⅱ」（25日間かつ180時間）のための演習などを積み重ねつつ、社会福祉士国家試験に向けた準備も着実にスタートさせています。
- ・ 実際の子どもの様子や教育・保育現場の仕事をもっと知りたいと、「富山に学ぶインターンシップⅠ」や「自主研修（インターンシップ）」などの職業体験を活用して、小学校・幼稚園・保育所・認定こども園・子育て支援センター・施設に出かける計画を立てている学生もいます。実習では得られない体験は、深い学びとなっています。
- ・ 充実した実習のためには、日常の健康管理が大切です。ボランティア活動やアルバイトなどから得る学びもありますが、大学での系統的な学習が第一であることを忘れず、学業を最優先に考えて、生活リズムを整えていくことを奨励しています。

### 2. 卒業研究について

- ・ 本学では、3・4年次の2年間で卒業研究を行うカリキュラムとなっており、4月からそれぞれのゼミに分かれて卒業論文作成の準備をスタートしました。なかなかテーマを絞りきれない学生が多いようですが、さまざまな先行研究を調べていくうちに、自ずと研究したい命題が出てくるはずです。
- ・ 例年、3年次の後期に卒業研究の中間発表会を開催し、研究テーマや研究計画などについてポスター発表を行っています。今年度は、発表形態の変更なども必要に応じて検討してまいります。4年次には、卒業研究に取り組んだ成果を卒業論文としてまとめます。

### 3. キャリア支援について

- ・ 保育・小学校・社会福祉分野の専門職を目指す「キャリア支援講座Ⅱ」が、前期は水曜5限に開講されています。保育分野では公立および私立保育所・幼稚園・認定こども園の採用試験対策、小学校分野では教員採用試験対策、社会福祉分野では4年生の2月に実施される国家試験対策をスタートしました。
- ・ 一般企業や公務員を目指す学生には、東黒牧キャンパスのキャリア支援センターと協力し、企業研究やエントリーシートの書き方等、遠隔システムにより指導しています。
- ・ コロナ禍の影響で、学生が目指す就職先も甚大な影響を受けていますが、教職員もいまできる限りの指導方法を相談しながら、支援を続けています。

□ 最終学年につながる大事な学年です。ご家庭でも一層の励ましをお願い申し上げます。  
（「卒業研究」3年生担当：大平・本江）



子ども育成学部での学びも最終年度を迎えています。年度当初から、新型コロナウイルスの影響で、授業も就職活動も、経験したことのない厳しい状態から始まりました。しかし、新たな情報機器を存分に活用し、今までとは異なる交流スタイルをつくりながら、それぞれが思い描く未来に向かって努力を続けて頂きたいと考えています。

### 1. 授業など学習面について

- ・ 4 年生の教育課程は社会福祉関係科目に重点が置かれていますが、卒業に必要な科目・単位、資格免許に必要な科目・単位を修得できているか、履修漏れがないよう十分に注意してください。
- ・ 資格や就職のための科目を履修するだけでなく、4 年で受講できる教養科目も複数あります。積極的に意欲的な学びが、専門職に就いてからの大きな助けとなりますので、是非活用してください。

### 2. 卒業研究について

- ・ 3 年次に履修した「卒業研究Ⅰ」では、自ら選択した研究テーマのアウトラインを「卒研中間発表会」で発表しました。今年度の「卒業研究Ⅱ」では、温めてきたテーマをさらに深く掘り下げ、卒業論文の完成を目指します。卒業論文の提出は 12 月 22～24 日ですので、計画的に作業を進める必要があります。
- ・ 卒業論文の提出が終わると、翌年 1 月には「卒業研究要旨集」のための原稿提出、2 月には卒業研究発表会と、大切な手続きや行事が続きます。最後まで研究テーマに向き合い、4 年間の学びの集大成となる研究物を発表されるよう期待しています。

### 3. 就職・進学・キャリア支援について

- ・ 現在、3・4 年生全員に、一斉メールで【求人速報】を配信しています。受験予定者に対する個別相談、履歴書・面接指導は、遠隔操作やメール、電話といった非接触型の方法を用い、これまでと変わらず丁寧に対応しています。就活時は、なにかと不安定になりがちですので、ご家庭でも是非温かいご支援をお願いいたします。
  - ・ 小学校分野では、願書の作成、本番に向けた模擬試験、集団面接、採用試験直前の専門・教職教養の演習等に取り組んでいます。7 月の小学校教員採用試験(富山県 18～19 日)には、41 名(富山県 41 名、長野県 1 名)が出願する予定です。
  - ・ 保育分野では、7 月 5、12 日の市町村保育士採用 1 次試験をはじめ、民間からも徐々に求人が多数寄せられています。4 月より履歴書や論文の書き方の指導、今後は、面接指導を行います。また、富山県保育士・保育所支援センターと連携を密にとり、学生が直接情報を得られるよう求職登録を勧めています。民間志望学生は、7 月 25～26 日に開催予定の「福祉のお仕事フェア」も利用し、進路を固めていきます。
  - ・ 福祉職を希望する学生には、希望職種に応じて個別に指導しています。今後は富山県健康・福祉人材センターの求職者登録を済ませ、保育分野と同様に「福祉のお仕事フェア」に参加します。
  - ・ 一般公務員・企業を目指す学生に対しては、希望職種に応じて、専門のアドバイザーによる面接指導や就職情報の提供、採用試験に向けた支援を個別に行っています。今年度はコロナ禍の影響で、4 月末から新規の求人はストップしていますが、引き続き、富山労働局や富山県等からの情報も活用しながら支援を続けていきます。
  - ・ 5 月 14 日現在、希望進路の状況は、小学校教諭 41 名、幼稚園教諭・保育教諭・保育所保育士 37 名、社会福祉関係 20 名、企業等 17 名となっています。
- なにかと制約の多い毎日ですが、大学生活最後の 1 年がより思い出深いものとなりますよう、保護者の皆様方と一緒に支援して参りたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(「卒業研究」4 年生担当：松山・彼谷)

令和2年度も後半を迎えます。前期は、コロナ感染の影響により行事・実習の中止や遠隔授業など学生への影響が見られました。6月15日より徐々に登校を増やしてきました。後期には、普通の授業に戻し、笑顔あふれる学生と対面できることをうれしく思います。夏季休業中には、陸上(男子ハンマー投げ・女子走高跳)、自主的なボランティア活動、サークル活動などコロナに配慮しながら活動する学生を見ました。また、オンラインの研修会参加、オンラインで留学生との交流など新しいスタイルに挑戦する学生も見られました。さらに、4年生は保育・小学校・福祉の就職試験や卒業研究、2・3年生は保育所・幼稚園・小学校への実習、1年生は授業の一環として20時間以上のボランティアに取り組みしました。

### 1 就職・進学・キャリア支援について

- ・ 4年生では、小学校教員33名、保育分野13名、福祉分野8名、公務員4名、企業7名の内定が出ています(9月23日現在)。この後、小学校教員は臨任講師への道、保育分野は富山市公立(富山市等)2次試験や法人保育園等の採用試験、福祉は民間福祉・医療事業所の採用試験や国家試験対策など、それぞれの目標に向かって最後の踏ん張りどころです。企業も含めて、ゼミ担任や各分野の担当教員にご相談下さい。
- ・ 3年生は、後期から「キャリア支援講座Ⅱ」を分野別に集中的に指導します。採用試験まであと半年余り。実習の成果を振り返りながら、「成りたい自分」へ対策強化です。
- ・ 2年生は、後期から専門職関連の授業が多く開講されます。日々の授業、実習の事前事後学習への専心が重要です。
- ・ 1年生は、後期から、必修科目「キャリア入門講座」を開講します。①幼稚園教諭・保育士、②小学校教諭、③社会福祉士の3分野の進路選択について学習します。3分野について、ご家庭でも十分に話し合われますようお願いいたします。

### 2 学習面について

- ・ 前期(4~9月)の学業成績を同封しております。一部の学年や科目で、再試験対象者がいました。成績不振のため実習を延期する場合は、保護者の方とも個別相談をさせていただきます。日頃の学習の大切さについて十分ご理解をお願いします。
- ・ 保育士・教員・社会福祉士など子ども育成の専門家への道は、容易ではありません。実習先・就職先など社会の注目と期待は、極めて厳しいものがあります。日頃から「学びの精神」をもって、授業・予習・復習・課題などに地道に取り組むことが、確かな就職に繋がります。また、将来を担ってくれる人材として、大きな期待が寄せられています。生活リズムを崩す過度のアルバイトや活動などで、学生生活を貧しくしてしまわないよう、ご家庭でもご指導をお願いします。

### 3 進路・学習・生活面での相談支援について

- ・ 相談支援の窓口は、①ゼミ担任、②科目担当教員、③実習担当教員、④キャリア支援担当、⑤事務室、⑥健康管理センターなど多様にあります。また、⑦メール相談、⑧後援会役員を通しての要望・相談なども可能です。早めの相談をお待ちしています。
- ・ この時期、授業や実習等をめぐり、自分の適性や進路選択の悩みなど様々な思いが交錯します。保護者の皆様には、適切な助言などご協力をお願い申し上げます。

### 4 第12回大学祭と保護者懇談会

- ・ 第12回大学祭は、中止となりましたが、3年生の卒業研究の中間発表は実施します。また、保護者懇談会は、ご案内の通り19日~23日に実施します。

(学部長：辻井満雄)

コロナ禍の中での夏休みも終わり、後期がよいよ始まります。後期では、ほとんどの科目で対面となり、専門的な学びが本格化します。感染拡大に留意しつつも充実した大学生活を送れることを願います。

保護者の皆様には、今後とも学習面、生活面にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 学習面・生活面について

- 前期はオンラインの講義が中心となり、仲間と共に学ぶことや活動する機会が充分ではなく、早く対面で活動をしたいという声がありました。オンライン講義や数少ない対面の機会に仲間と楽しそうにする姿が印象的でした。自分の将来についても考える様子がありました。
- 卒業必修科目に1・2年生合同の授業「教養演習」があります。今年度は前期では、各ゼミ別に自由なテーマで動画を制作するという活動を行いました。7月にオンラインでの発表を行いました。「子どものゲーム依存について」や「日常生活に潜む心理的効果」といったテーマで研究されたものから、「大食い対決」や「ドミノをやってみよう」などの遊び心のあるものまで、各ゼミでその時できる限りの協力体制で行い、ゼミ生同士のつながりができ、充実した発表となりました。後期では、個人別課題研究に取り組み、関心のある分野への研究アプローチを通して、専門分野の知識を自主的に深める取り組みがスタートします。
- 前期は、心理学、教育原理、日本国憲法など、子ども育成の基本科目に加えて、大学生としての教養を身に付ける科目がほとんどで、多くがオンラインでの講義でした。図画工作での対面での集中講義では、仲間と共に粘土を練ったり、ガラスに絵を描いたり、非常に意欲的に楽しく学ぶ姿がみられました。後期はほとんどが対面での講義となり、専門に関する科目もあることから活発な議論や活動をする姿を期待しています。

## 2. キャリア支援について

- 小学校、幼稚園・保育所、社会福祉など各分野に向けた「キャリア入門講座」が、後期から卒業必修科目の授業として始まります。計画的に、キャリア形成ができるよう1年次から自分の進むべき道について考えていきます。キャリア入門講座の中では、保育士、小学校教諭、社会福祉士の現場等で活躍されている方をお招きして、それぞれの現場の話を学生が直接聴く機会を設けます。また、教育や福祉を学び、社会でどのような役割を果たせるのかを考えていきます。ご家庭でも、将来の方向性について、是非この時期から話題にさせていただいて、学生の可能性を幅広く高く伸ばすことができればよいと考えます。
- 日々の講義で多くの分野について幅広く学びながらも、自分の目指す道を決めていく時期です。これからも教職員一同、全力で教育・指導に努めてまいりますので保護者の皆様には、今後とも一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(担当：室林・佐部利)

夏季休業も終わり、後期の授業・活動に向けて、学生たちはそれぞれ準備を始めています。前期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモートによる授業、リモートと対面を併用した授業でしたが、後期は感染拡大防止に配慮したうえ、原則として対面での授業になります。

保護者の皆様には、以下の点にご理解とご協力を下さいますようお願いいたします。

### 1 授業・学習面について

- 8月末に、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格免許科目の「**体育**」が行われました。学内では専門指導者を招聘して器械運動の授業、学外では陸上競技場や市民プールにおいて幼児・児童の体育指導法の授業が行われ、体験を通して学びました。
- 授業を6回欠席**しますと、期末試験の受験資格がなくなり、単位が取得できません。卒業や資格取得にもかかわる問題ですので、ご家庭でもご指導をお願いいたします。

### 2 実習・キャリア支援について

- 実習を通して、自分の進む進路をより明確にしていきます。なお、実習の履修要件（健康状態、授業・生活態度、成績等）を満たさなければ、原則として実習に行くことはできません。2年生の成績・態度は、今後の2年次・3年次の実習に大きく影響します。授業に取り組む姿勢、生活態度、健康管理等に十分留意するよう学生に指導していきます。
- 保育士資格取得希望者**は、9月に10日間の「**保育所実習Ⅰ**」(9/2～9/15)を終えました。また「**施設実習Ⅰ**」(11/9～11/20)は、富山県内の児童福祉施設等で実施します。すでに配属先が決定しておりますので、目的意識を再確認し、事前学習及び体調管理に努め、実習に臨んでいただければと願っています。
- 小学校教諭一種免許状取得希望者**は、**来年9月の「小学校教育実習」(3年次)**に向けて、夏季休業中から母校等へ実習依頼に出向き、手続きを進めています。また、免許状取得のために3年次には、「**介護等体験**」(特別支援学校2日間)に出かけます。今から、実習への心づもりをして欲しいと思います。
- 後期には、3年次前期に行われる「**幼稚園教育実習Ⅱ**」の履修希望調査が始まります。幼稚園教諭一種免許状の取得について、ゼミ担当教員や科目担当教員と相談しながら手続きを進めていきます。
- 「**キャリア支援講座Ⅰ**」は、3分野から希望する分野に分かれて授業を行っています。**保育分野**では、ピアノ演奏や自作保育教材実演等の実技試験対策、論作文の練習を、**小学校分野**では、教員採用試験で過去に出題された問題や集団討論の練習を、**社会福祉分野**では、社会保障の基礎など社会福祉に関わる様々な課題について考える機会をもっています。進路に悩んでいる学生も見られます。ご家庭でもご支援をお願いいたします。

### 3 授業外の活動・生活面について

- オープンキャンパス**(8・10月)では、学友会の2年生が中心となって、大学生活の紹介を行うなど様々な係を通して、多くの高校生と触れ合う機会となりました。
- 2年生は、**自家用車通学**が多いため、交通事故防止のための注意喚起を行っております。ご家庭でも引き続きご指導をお願いいたします。

(担当：堀江・河崎)

今年度は、新型コロナウイルスの影響により経験したことのない状態での始まりでしたが、皆様のご協力により、前期の授業を終えることができました。心より感謝申し上げます。

3 年生にとっての夏季休業は、学外実習や卒業研究中間発表の準備で、忙しくも充実した期間であったと思います。同時に、卒業後の進路を具体的に思い描き、計画的実践的に取り組む時期にも入ってまいりました。以下、3 年生の最近の概況についてお伝えいたします。

### 1 学外実習について

3 週間(15 日間)の「幼稚園教育実習Ⅱ」と「小学校教育実習」が夏季休業中に行われました。4 月よりメールでの学内指導が始まり、5 月からはオンライン、半数の対面授業で準備を進めてきました。実習直前には、大学に来て、黙々と実習の教材や授業案を練り、現場に向かう準備に取り組む姿が多く見られました。実習先の幼稚園や小学校からは、余裕をもちながら子どもたちとも積極的に関わり、自分で考え、動くことができている点、小学校教育実習では、子どもの名前をすぐに覚えて一人一人と真摯に向き合う姿、分かりやすく楽しい授業にしようと懸命に取り組む姿などが評価されています。

実習を一つ終わるたびに、学生たちは大きく成長していきます。これらの経験が自分を知り、自らの適性に合った進路を決定していく材料になっていくことでしょう。

### 2 「卒業研究Ⅰ」について

前期には、今年の4 月から配属された卒業研究のゼミにおいて、卒業論文のテーマを考えるために、ゼミ内で興味のあることについて討論をしたり、文献調査をしたりしながら研究を進めてきました。なかには研究したいことが複数ある学生や、テーマを決めて調べ始めたものの、行き詰ってテーマ変更に踏み切る学生もいます。10 月には、現段階における研究の方向性等をポスターで展示し発表する予定ですので、テーマ変更をした学生は、急ピッチで準備をしていることと思われます。

自分が最も関心あることをしっかりと見定めて、3 年生の後期までに資料や論文、文献の収集、フィールドワーク(実地調査)、アンケート調査等の材料をそろえることができると、4 年生で実習や就職活動で多忙になっても、充実した研究を行うことが可能だと考えます。

### 3 キャリア支援(就職・進学)について

- ・ 通年科目である「キャリア支援講座Ⅱ」では、保育士・幼稚園教諭、小学校教諭、社会福祉士の中から希望する講座を受講します。一般企業や公務員などを目指す学生には、特別講座(課外)を提供し、東黒牧キャンパスのキャリアアドバイザーや人材育成企業の協力も得ながら、個々のニーズに沿った指導体制をとっています。後期には、各講座において、模擬面接や集団討論等、より実践的なプログラムも盛り込んでいきます。
- ・ 「富山に学ぶインターンシップⅠ」では、保育・教育・福祉の実践現場での就業体験を行っています。専門職のあり方について考える機会でもあります。
- ・ 4 年生に進級すると、まもなく採用試験が始まります。ただし、一般企業を希望する場合は、3 年後期からインターンシップや企業説明会と称する採用活動が行われます。コロナ禍の影響で内定が心配されるなか、今年度も保育・教育・福祉の各分野で、先輩たちの採用試験合格や就職活動の成果が届いています。成功をつかむには、明確な目標に向かって地道な努力と体調管理が大切です。保護者の皆様には、引き続き、学生の生活状況の把握と日々の励まし等をお願いいたします。

(担当：本江・大平)

卒業まで残り半年となりました。いよいよ、大学生活の総仕上げとなる 4 年次後期が始まります。学生一人一人にとって、卒業論文の執筆とともに、卒業後の進路に向けた大切な時期であることの自覚が求められます。最近の概況についてお伝えいたします。

## 1. キャリア支援(就職・進学)について

- ・ 富山県小学校教員採用試験では 40 名が 1 次試験に合格する快挙を成し遂げました。卒業生 4 名を合わせた 44 名が、お盆休み返上で、2 次試験に向けた特別講座に取り組みました。結果は 4 年生 33 名が合格し、合格数・合格率共に過去最高となりました。今後、補欠合格等を待ちたいと思います。保育士・幼稚園教諭・保育教諭採用試験では、公立 4 名、民間 9 名がすでに内定を得ています。社会福祉関係では、富山市 2 名や民間の社会福祉施設等で 2 名、医療機関で 4 名がすでに内定を得ています。公務員では、一般行政に 4 名(氷見市、上市町、入善町各 1 名)が内定しています。一般企業でも 7 名が内定を得ています(数字はいずれも 9 月 23 日現在)。
- ・ 保育士・幼稚園教諭・保育教諭、社会福祉士採用については、大学に届いた求人情報を学部のキャリア支援センターから一斉メールで速報し、ゼミ担当教員が中心となり、保育・教育・福祉・企業等の各分野担当と連携をとりながら支援しています。就職は、後になればなるほど採用条件が厳しくなりますので、早めに見学・応募することが重要です。ご家庭でのお声かけをよろしくお願いいたします。
- ・ 後期には、社会福祉士国家試験受験者を対象に「キャリア支援講座Ⅲ」が開講されます。2021 年 2 月 7 日の国家試験に向けて、最終的な受験体制に入ります。当日の試験は午前・午後合わせて 4 時間の長丁場です。知力はもとより、体力と気力が不可欠となりますので、万全の体調管理が求められます。保護者の皆さまの温かい励ましが大きな力になることと思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。
- ・ 「富山に学ぶインターンシップⅡ」(4 年次開講科目)では、保育・教育・福祉の実践現場での就業体験を行っています。実習前後や卒業を前に、専門職のあり方について考える最後の機会でもあります。
- ・ 教員一同、学生一人一人の「なりたい自分になる」ためのサポートを行っています。保護者の皆様には、生活状況の把握、健康への留意、励まし等をお願いするとともに、ご質問やご相談につきましては、まず、ゼミ担当教員へのご連絡をお願いいたします。

## 2. 卒業研究Ⅱについて

- ・ 卒業研究Ⅱは、4 年間の学びと研究活動の集大成です。12 月下旬の卒論提出に向け、一人一人が、保育・教育・福祉等の分野に関わるテーマを選び研究を進めています。
- ・ 今年度の卒業研究発表会は、2021 年 2 月 6 日(土)に開催されます。卒業研究を始めた頃は、発表会はまだ先の話だと思っていたことと思いますが、授業、実習、就活と忙しく過ごすうちに、残り時間もわずかとなりました。卒業研究は極めて創造的な作業です。将来どの職業に就いても、この体験はいずれ必ず役に立つでしょう。保護者の皆様には、卒論完成まで温かく見守って頂きますようお願いいたします。

(担当：松山・彼谷)